

連谷

RENGO

弁理士連合クラブ会報

No.30
2020

目次

巻頭言

弁理士連合クラブ幹事長	塩野谷英城	2
-------------	-------	---

ご挨拶

日本弁理士会会長	清水 善廣	4
日本弁理士クラブ幹事長	福田 伸一	6
西日本弁理士クラブ幹事長	小谷 昌崇	8
弁理士同友会幹事長	高田 大輔	10
弁理士クラブ幹事長	今堀 克彦	11
日本弁理士会副会長	船津 暢宏	13

会務報告

弁理士連合クラブ副幹事長	伊賀 誠司	16
弁理士連合クラブ副幹事長	瀧澤 匡則	18
弁理士連合クラブ副幹事長	松本 直子	20
令和元年度弁理士連合クラブのあゆみ		22
総務委員会		24
政策委員会		26
企画委員会		27
役員協議委員会		28
研修委員会		30

親睦会報告

第29回連合旅行会・ゴルフ大会	31
-----------------	----

資料

令和元年度弁理士連合クラブ役員	36
弁理士連合クラブ歴代役員	38
弁理士連合クラブ会則	61
弁理士連合クラブ慶弔規則	64
「特別寄付金」を求めるときの運用基準	65

編集後記

	66
--	----

表紙「題字」山川 政樹 「写真」－清津峡－ 笹川 拓

令和新時代



弁理士連合クラブ幹事長
塩野谷 英城

機関紙「連合」No.30の発刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

まずは、2019年9月に発生した台風15号および10月に発生した台風19号の被害により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今年も災害の多い1年でしたが、令和を迎え、AI、IoT、ビッグデータ等により災害予防の技術が進歩してゆくことを願います。令和元年は、AI、IoT、ビッグデータ等の言葉の浸透が進み、これらの特許審査事例が活発に説明されるようになり、日本弁理士会でもこれらの影響を考慮した中長期課題の検討が進められています。国際的には、韓国との関係悪化や、欧州のBrexit問題など、先行き不透明な状況もあります。一方で、吉野彰さんのノーベル化学賞受賞、探査機はやぶさ2が小惑星リュウグウに着陸、新1万円札の顔が渋沢栄一さんに決まるなどの明るいニュースもありました。その令和元年に、副幹事長の伊賀誠司先生（政策・役協・調整）、瀧澤匡則先生（企画・研修）、松本直子先生（総務）と共に、弁理士連合クラブの幹事長を務めさせて頂きました。副幹事長の先生方には、積極的に取り組んでいただき、以下の活動を実現していただきました。ありがとうございました。

企画委員会による旅行会では、新潟・越後湯沢でお酒とお米を楽しんで頂きました。オプションの観光やゴルフにもこだわりました。旅行会社から提案

されたプランのほとんどを差し替えて臨みました。企画する私たちが楽しいと思うものでなければ、ゲストに喜んでももらえない、という意気込みで取り組みました。また、旅行会では、研修委員会によるAI特許をテーマにした研修が開催されました。旅行・研修・オプションともに、大勢のご参加をいただき、多数の好評を得ることができました。成功に導いていただいた企画委員会の笹川拓委員長、須藤淳副委員長、研修委員会の小國泰弘委員長、谷口登副委員長をはじめ、各委員の先生方、誠にありがとうございました。

日本弁理士会の役員選挙では、監事と常議員との両方が投票選挙になるという初めてのことが起こりました。投票選挙の結果は、当クラブとしては監事が上位当選となった一方で、本当にあと一步というところで常議員候補1名が当選を逃しました。しかしこれも、次年度以降に生きる経験であると考えております。また、今年度の監事と常議員の投票選挙は三派外からの立候補によるものですが、三派外からの立候補の可能性は副会長も含め年々高まっています。今年度の反省をしっかりと次年度に引き継いで参ります。

当クラブ主催の役員当選祝賀会は、東海大学校友会館にて開催し、多数の来賓及び会員にご参加いただきました。アトラクションでは、副幹事長の松本直子先生のご紹介で、プロのフラメンコ舞踊団の皆様にご出演いただき、大変好評をいただきました。

会合を重ね準備していただいた役員協議委員会の山川茂樹委員長、藤浪一郎副委員長をはじめ役協委員の先生方およびお手伝いいただいた会員の皆様、本当にありがとうございました。

政策委員会は、face-to-faceの会合にこだわり、日本弁理士の議案や役員会の旬のテーマについて、複数回の意見交換会を開き、個々の想いを交わしてきました。face-to-faceでの開催は、当クラブ相談役の先生方から頂いたご提案に基づきますが、やってみて分かったことは、日頃から多勢の前で自身の意見を述べるという経験を積むことが、将来の発言力を持つ人材の育成に繋がるということです。今年度の意見交換会の多くは、一般の会員も参加可能なオープン形式をとりました。自身の発言力の向上に繋がるということも意識して積極的に参加されてはいかがでしょうか。複数回にわたり、意見交換会の開催や当クラブの意見の取り纏めをしていただいた政策委員会の潮太郎委員長、中原文彦副委員長をはじめ政策委員の先生方、また意見交換会でご説明をいただきました船津暢宏副会長に深く御礼申し上げます。

この執筆現在12月に入り、当クラブの次期幹事長である吉村俊一先生にタスキを渡す中継点が見えてきました。吉村執行部による当クラブの益々の発展を祈念いたします。最後に、当クラブの重要な幹事会総会および会計を運営してくださった総務委員会の笹野拓馬委員長、三苦貴織副委員長をはじめ総務委員の皆様、当クラブの優秀な人事をご推薦いただくとともに、あらゆる場面でご協力をいただいた弁理士同友会の高田大輔幹事長、弁理士クラブの今堀克彦幹事長、三派の会合や行事で大変お世話になりました日本弁理士クラブの福田伸一幹事長、西日本弁理士クラブの小谷昌崇幹事長、そして、ご多用の中、当クラブのイベントにご臨席頂きました清水善廣会長をはじめ日本弁理士会役員の先生方にお礼を申し上げて、私の挨拶に代えさせていただきます。誠にありがとうございました。



令和新時代に知財立国の実現を！



日本弁理士会会長
清水 善廣

弁理士連合クラブの皆様方には日頃より日本弁理士会の活動に対するご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年、元号が平成から令和に代わりました。そして、令和元年は弁理士制度120周年という記念すべき年でもありました。記念式典・祝賀会の挙行に際しての塩野谷幹事長をはじめ弁理士連合クラブの皆様のご多大なるご協力に深く感謝申し上げます。弁理士制度130周年を迎える頃には、夢と希望のある知財立国が実現しているよう、令和の時代を弁理士にとって輝かしい時代にしたいと思います。引き続き弁理士連合クラブの皆様のご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

第4次産業革命の進展が目覚しく、AI、IoT、ビッグデータ等の言葉もすでに目新しいものではなくなくなっています。デジタル化やデータの利活用が進み、夢の技術と言われた量子コンピュータの開発も加速して実用化も射程に入ってきています。AI・機械学習による創薬研究や新機能材料探索、再生医療やゲノム編集の実用化も一気に進んできました。工業的なモノ作りの分野だけでなく、農林水産業やサービス産業等、幅広い分野でイノベーションが生まれ、弁理士の活躍の場が大きく広がり、多岐に亘る分野でその活躍が期待されています。来るべき弁理士法改正においては農水知財の分野でも我々が活躍できるような改正を目指します。

弁理士がその使命を果たすための活動基盤強化のため、事業計画として「夢と希望のある知財立国の

実現」をスローガンにして、「弁理士絆プロジェクト」を立ち上げ会務を進めてきています。

「弁理士絆プロジェクト」は日本弁理士会のみでは足りないパワーを外部に求め、日本弁理士会と外部との連携によって絆を築き、大きなパワーにして「夢と希望のある知財立国の実現」を目指すものです。

日本弁理士会の各支部は地域会に、各支部長は地域会会長に名称を変更しました。この名称変更によって各地域会の活動が非常に活発化しています。この活発化した地域会と本会との連携によって次の5つの絆をもとにプロジェクトを進めています。

1. 金融機関との絆

全国の地域金融機関との連携により、各地域の金融機関の知財マインドを高め、その知財マインドが金融機関の支援を受ける関連企業へ波及することを目標としています。

2. 企業との絆

企業との直接的な情報交換や相互理解に基づき、企業ニーズに則した弁理士が提供する知財サービスの向上を図り、或いは、中小企業を支援する中小企業支援団体との情報交換により中小企業の抱える知財ニーズを把握して中小企業に提供する知財サービスの向上を図って行きます。

3. 他士業との絆

弁護士、公認会計士、司法書士、税理士、中小企

業診断士、技術士等の他士業との連携により弁理士の提供する知財サービスの質的向上を図って行きます。また、他士業のチャンネルを介することで、知財のニーズの拾い溢しをなくし、知財サービスが広く行き届るようにして行きます。去年は、弁護士、中小企業診断士との連携を始めましたが、今年は更に連携を深めるとともに、上記以外の士業との連携も広げて行きます。

4. アカデミアとの絆

大学や国立研究機関などのアカデミアを対象に、権利化業務だけでなく、共同研究や技術移転のマッチングにも関わられるように連携を深め、アカデミアの「知」を活用したイノベーション創出にも関わって行きます。

5. 弁理士同士の絆

事務所、企業、アカデミア等、様々な分野で活動する弁理士同士の連携によりそれぞれの分野で得た知見や経験を活かし、知財のプレゼンス、そして弁理士のプレゼンスを向上させ大きなパワーにして行きます。産学官の連携に的を絞り活動を始めたところですが、今年はその成果を目に見える形にして行きます。

弁理士絆プロジェクトは仕込みの段階から実行の段階に入って行きます。弁理士がその使命を果たし、令和の時代に知財立国を実現させ、弁理士にとって令和の時代が輝かしい時代となるよう会務に専心してまいります。

次年度におきましても吉村次期幹事長をはじめ弁理士連合クラブの皆様のご支援、ご協力の程、宜しくお願いいたします。



令和の時代に思うこと



日本弁理士クラブ幹事長
福田 伸一

1. はじめに

本年度（平成31年度／令和元年度）の日本弁理士クラブ幹事長を務めております、福田伸一でございます。

弁理士連合クラブの皆様には、政策・人事、その他様々な会務活動において協力体制を構築していただいております、厚く御礼申し上げます次第です。

2. 会派について

扱、日本弁理士クラブの幹事長を拝命し、今更ながら感じたこととして、弁理士会の会務活動における会派の重要性を挙げるすることができます。

例えば、年明けに立ち上がる日本弁理士会の次年度人事検討委員会の委員長には慣例的に日本弁理士会会長が所属する会派の長が就任することになっております。そのため、平成31年度の委員会等人事を決定する平成30年度の次年度人事検討委員会の委員長ポストには私が就任することになりました。

この委員会は、日本弁理士会内にある数多の付属機関や委員会の人選を調整することが目的であって、3か月程度でトータル1,000人以上の会員を割り振る作業を行っています。この委員会において、ややもすれば特許等の専門委員会のような人気委員会に偏り易い人事を、弁理士連合クラブ、西日本弁理士クラブ、東海協議会の皆様のご協力により、どちらかといえばあまり人気のない委員会についても優秀な会員を選任していただくことができました。

時に仲良しクラブと揶揄されることもありますが、

派手さが無い仕事であっても、見返りを求めることなく、自らの時間を使って会務運営に協力する会派の存在無くしては、日本弁理士会は機能しえないと強く感じた次第です。

とはいえ、1万人を超える日本弁理士会の会員中、会派に所属する会員の数は50%を下回ってきており、一人の会員が複数の委員会に所属せざるを得ない状況になってきているのも紛れもない事実です。

弁理士連合クラブ、西日本弁理士クラブ、東海協議会、そして、日本弁理士クラブが、政策、研修、趣味、地域性等、各々の会派が得意とする分野で一人でも多くの会員に会派に所属する魅力を説き、今以上に優秀な人材を確保するように努める必要があると考えております。

3. 弁理士業務について

AI等の先端技術の進歩は、弁理士業界の業態にも大きな変革を齎そうとしています。

既に一部はスタートしているようですが、近未来的に弁理士業務（特許事務所業務）の相当な部分は「人」からAIに移行することが予想されます。

とはいえ、そのような環境下であるとしても、「人」としての弁理士にしか成しえないことは必ずあると考えております。

与えられた時間は長くないのかもしれませんが、「人」としての弁理士に固有の業務は何なのか、その固有の業務を遂行するに必要な能力は何なのか、そして、AIに任せるべき業務は何なのか、といっ

た事柄をしっかりと把握していく必要があると考えております。

4. 弁理士会について

ご案内のように、2008年頃からの数年間、多くの若い弁理士が誕生しました。それから10年程度を経過した現在、当時の若い弁理士はアラフィフに近づいてきています。すなわち、弁理士の数及び平均年齢は、その世代によって決定されており、将来的には弁理士の高齢化が懸念されるところです。

そうであれば、人数的に落ち着きを見せている最近の試験合格者において、受験者の質をいかに高めていくのか、そのために既存の弁理士は、どのような努力をしなければならないのかを、弁理士会全体の問題として意識を共有し、前向きに取り組んでいく必要があると考えております。

5. おわりに

最後になりましたが、弁理士連合クラブのご発展を祈念すると共に、1年間、お付き合いいただいた塩野谷英城幹事長に感謝申し上げます次第です。

以上



三派の絆の更なる進化

西日本弁理士クラブ幹事長
小谷 昌崇

平成最後及び令和最初の西日本弁理士クラブ幹事長を拝命致しました小谷昌崇です。貴クラブに所属の先生方の中もお付き合いさせて頂いているのは幹事長の塩野谷先生をはじめほんの一握りで、初めましての方が多いいのではないのでしょうか。このような中、貴クラブの機関誌「連合」の発行に当たり、ご挨拶の機会を賜り、誠に有難うございます。

西日本弁理士クラブ（以下「西弁」）の幹事長を務めさせて頂いた1年を振り返りますと、身をもって会派の重要性を感じさせて頂いた1年でした。

西弁幹事長になって初の公の仕事は、次年度人事委員会でございます。この次年度人事委員会で、ご承知のとおり、貴クラブ及び日本弁理士クラブをはじめ、十派全ての幹事長が勢揃い致します。次年度人事委員会では、その名の通り次年度の委員を推薦する委員会でございますが、不人気委員会ではなかなか人が集まらず、その場で各会派が個別に電話を掛ける光景を何度も目に致しました。貴クラブはもとよりどの会派も、それぞれで育てた人材を惜しみなく、また積極的に推薦する光景を目の当たりにして、人事面でも会派が日本弁理士会をサポートしているのだと実感した次第です。

また、政策面でも同様です。公式には、総会の重要議案について日本弁理士会が各会派に対する説明会を実施して意見徴収を行っています。一方、公式ではございませんが、これらの議案の経緯や、議案以外でも日本弁理士会が直面している問題などの本

会の背景事情を、旅行会などの親睦活動を通じて知ることができます。これらの本会の背景事情を理解することにより、会務に関する理解が深まるように思います。西弁旅行会は、昨年度は天候の関係で急遽中止になり、貴クラブの皆様にもご迷惑をお掛け致しましたが、本年度は7月に若干小雨がぱらつく中ではございましたが、無事に岡山でリベンジすることができました。貴クラブからは、遠方にもかかわらず多数ご参加賜り誠にありがとうございました。この旅行会では深夜までお酒を酌み交わし、いつもは政策面なども含めてお話しさせていただきますが、本年はとりわけ西弁特有の事情に関し、ご理解やご助言を賜りましたことを嬉しく感じました。この点については、9月に越後湯沢で開催されました貴クラブの旅行会でも、その後の状況などのご心配も頂き、時には打開策などもご提案頂き、会派間の絆というものをあらためて感じさせて頂くことができました。この場をお借りしてあらためて御礼申し上げます。

そして、最後に強く印象に残ったのが日本弁理士会役員選挙でございます。本年度は会長選挙の年ではなかったので、選挙についてはあまり考えておりませんでした。8月の後半から俄かに騒がしくなり、蓋を開けて見れば、皆様もご承知のように、監事及び関東常議員について投票を実施することになりました。本年度の選挙も会派と無会派との争いのようなになりましたが、選挙戦を通じて感じたことは、会派の意義について三派で共有してそれを会派に所

属していない先生方にも発信していく必要があるのではないかと言うことです。会派に所属している私でもこの幹事長職を通じて会派の意義について認識をあらたに致しましたし、ましてや会派に所属していない先生方にとっては会派の意義を十分に理解できていないのではないのでしょうか。この点については、次年度も継続してご相談させて頂ければ幸いに存じます。

任期は残すところあと僅かではございますが、次年度の上羽秀敏幹事長に良い形で引き継ぎができるよう、また会派間の絆を更に進化させることができるよう、微力ではございますが最後まで精一杯務めて参りますので、今しばらくお付き合い頂きますようお願い申し上げます。

最後に、貴クラブの益々のご発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



今年を振り返って



弁理士同友会幹事長
高田 大輔

平成30年度に引き続き、平成31年及び令和元年度の弁理士同友会幹事長を拝命しております高田大輔でございます。

本年度の役員定時選挙は、会長選がなく、副会長選が無投票で当選となったものの、監事及び常議員（関東地区）について投票選挙に突入するという、未曾有の状態となりました。監事選に関しましては、弁理士連合クラブの塩野谷幹事長、伊賀副幹事長、山川役協委員長をはじめとする弁理士連合クラブの関係者の皆様、弁理士クラブの今堀幹事長、井上選対委員長をはじめとする弁理士クラブの関係者の皆様の多大なご協力を経て、当会推薦の小林保監事候補を無事に当選させることができました。今堀幹事長とは職場が同じで席が近いことから、例年よりも密に情報交換を行うことができ、連合クラブを通じて単位会派が強固な連携を以て監事選挙に臨むことができたと思います。得票数が2番目であったことが、このことを如実に示していると思います。常議員選挙に関しては、単位会派毎の活動となりましたが、塩野谷幹事長が当会の電話攻勢にご参加下さるといった、特別な配慮も頂きました。弁理士連合クラブの関係者、弁理士クラブの関係者、当会関係者におかれましては、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

結果として、弁理士クラブ推薦の、副会長1名、常議員4名が当選を果たすことができました。当会からも、当会推薦の副会長1名、監事1名、常議員2名を当選させることができました。当選者の皆様

おめでとうございます。しかしながら、当会推薦の常議員候補1名については落選となってしまいました。今後の大きな反省材料です。

また、次年度の弁理士連合クラブ幹事長として、吉村俊一会員を当会にて機関決定し、弁理士連合クラブにてご承認頂きました。次年度は、吉村幹事長を中心に役員定時選挙に臨むこととなります。

来年は、会長選挙の年であり、会長選のない年に比べて投票選挙に突入する可能性が高いといわれております。弁理士連合クラブの存在、弁理士連合クラブを通じた弁理士クラブとの協力関係が益々重要となっております。今後も、この協力体制を強固なものとして、共に歩んでいくことを願う次第です。

以上

連合役協委員会打ち上げの場にて



知財業界の未来を牽引する組織へ

弁理士クラブ幹事長
今堀 克彦

令和元年度弁理士クラブ幹事長を務めました今堀克彦です。機関誌「連合」の発刊に際し、一言ご挨拶申し上げます。

塩野谷英城幹事長をはじめ、今年度、弁理士連合クラブの執行部でご活躍された先生方には、本当にお世話になった一年間でした。元号が平成から令和に変わり、時代の節目を感じる多くの出来事があったこの一年は、先生方のご協力があったからこそ乗り越えることができたと思っております。心より感謝申し上げます。

特に今年の中で印象に残っているのは、秋に行われました日本弁理士会の次年度役員選挙です。今年は次年度弁理士会役員選挙において、監事と常議員（関東選挙区）が投票選挙となりました。そのうち監事については、史上初の投票選挙ということもあり、まさに組織力が問われた選挙戦でした。思えば昨年、友党である弁理士同友会に対して、他会派から為された働きかけの問題があったわけですが、それを払拭すべく弁理士連合クラブの執行部、特に塩野谷英城幹事長の下、弁理士同友会と弁理士クラブが結束し、弁理士連合クラブ推薦の小林保先生を当選に導く効果的な選挙戦を繰り広げることができたと考えております。日本弁理士会を支える一派である弁理士連合クラブから監事をしっかりと送り出す責務が果たせたことは、弁理士クラブ幹事長として安堵を感じるとともに、今後、どのようにして組織力を維持すべきなのか考えさせられるときでもありました。

現在、弁理士が活躍する知財分野は様々な環境因子の影響を受ける構造となっています。我々の顧客である企業のビジネス環境は極めてグローバルなものとなり、その企業も彼らのビジネスが様々な不安定要素、例えば、米中に代表されるグローバル覇権の争い等に晒され、その影響を受けやすい構造となっています。一方で、人工知能等のIT技術の発展、そしてその社会への浸透も目覚ましいものであり、当該技術が利用された新しいサービスが日々現れるとともに、時間も経たずにそれが日常のものとなっていく、変化の激しい時期を迎えています。その中で、弁理士には、多岐にわたるIT技術を理解しその権利保護を図るべく日々研鑽が求められるとともに、当該技術がこれまでの弁理士業務を大きく変貌させる可能性に真摯に向き合うことが求められています。そのため、これまでの弁理士業務の在り方と、これからの在り方とは大きく変わることが推察され、そして当然の帰結として、日本弁理士会や弁理士連合クラブを担う人材の意識もこれまでとは変わってくるものと思われます。このような時期にこそ、弁理士連合クラブを形成する弁理士同友会と弁理士クラブが結束を固め、それぞれの会派内に擁する多様な人材を生かし、新しい時代に対応できる「組織」を作り上げていくべきではないかと、臆気ながら考えを巡らしています。

最後になりますが、今年の秋に行われた弁理士連合クラブの旅行会では、新潟県越後湯沢を訪ねる機会をいただきました。弁理士会役員選挙の直前に行

われる連合旅行会は、弁理士連合クラブ、そして弁理士クラブとしての意見を参加する他会派に伝えるとともに、他会派の動向や考えを肌で感じ取れる貴重な場であったと実感しました。弁理士連合クラブの旅行会担当の先生方には、多大なご苦勞があったかと思ひます。厚く御礼申し上げます。



Beyond ザ 知財 (Beyond the IP) —日本弁理士会 会務報告—



日本弁理士会副会長
船津 暢宏

1. はじめに

弁理士連合クラブ（連合）の推薦を頂き、2019年度日本弁理士会（本会）の副会長を務めております船津暢宏です。

連合の会員の皆様には、日ごろからご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。本年度は、特に連合から一人だけの副会長ということで、既に2回開催されました連合内での意見交換会において、本会の活動内容を説明する機会を頂くと共に皆様からの貴重なご意見を賜りましたことに、深く御礼を申し上げます。皆様のご意見を会務に反映させるべく日々奮闘しております。

さて、本会HPから閲覧できますOfficial Movie「BENRI-C」（2020年3月まで閲覧可能）で、新人スタッフ役の大原優乃さんが「そもそも弁理士の仕事分ってないし。」との冒頭の発言からストーリーが展開して行きます。

副会長の活動をしていて、度々「そもそも弁理士の仕事分ってないな～35年も弁理士していて」という場面に遭遇します。12月の日本知財学会での懇親会で、AI創薬の大学の先生から知財戦略における弁理士の役割を問われ、日頃お付き合いのあるスタートアップ・ベンチャーにおける弁理士の役割をお話しましたが、以前に比べて弁理士の仕事は多様化し、深い知識と洞察を要求されていると実感しております。

知的財産（知財）を取り巻く環境は、大きく変化

しています。米国のIT業界の状況を顧みれば、コアビジネスを知財と契約でマネジメントし、オープン&クローズ戦略をグローバルに展開し、市場をコントロールして成長を確保するトレンドとなっています。

正に、1件の知財であっても活用次第では戦略的意義が増大しています。しかしながら、日本における知財マネジメントの現場では、新時代の戦略を促進する知財サポートが十分に為されていないため、かえって知財のプレゼンスが低下傾向にあります。

日本弁理士会としては、新時代に対応した会務運営を迅速に進めて行くことが急務だと考えています。

2. 会務報告

担当しています中央知的財産研究所、選挙管理委員会、財務委員会、不正競争防止委員会、知財プレゼンス向上委員会、監事会、九州会について報告させていただきます。

【中央知的財産研究所】

中央知的財産研究所は、長期的及び国際的視野から、内外の知的財産及び弁理士に関する諸問題についての調査・研究・情報の提供並びにこれらに関連する諸事業を行うことにより、知的財産権制度及び弁理士制度の健全な発展に資する活動を行っています。

当研究所は、弁理士で構成される内部研究員と、大学教授等の学者・弁護士・裁判所・特許庁出身者等で構成される外部研究員とが共同で知財に関する研究を行っています。

本年度のテーマは、「超スマート社会 (Society5.0) に適合する知的財産保護の制度のあり方」「日本商標法の未来のための方策検討」「知的財産と経済＝知的財産競争とイノベーション＝」で、8月のAI関連発明の発表会は先進的でありました。

また、研究成果の論文を発表する別冊パテントをホームページで早期公開する手続を整備しました。

尚、11月22日大阪で、11月29日東京で開催されました公開フォーラムには多くの関係者にご出席頂き、知財の関心の高さを実感しました。出席者並びに開催関係者の皆様に感謝申し上げます。

【選挙管理委員会】

選挙管理委員会は、例年予定されている役員選挙の告示や説明会、立候補者の受付、投票の管理等を行う委員会です。

本年度は、投票が行われましたので、投票・開票をスムーズに行えるよう対応を進めました。

なお、近年の選挙における投票率の低さが気になります。投票率の改善に向けて検討する必要性を感じます。

【財務委員会】

財務委員会は、日本弁理士会の財政状況について把握するとともに、会の財産全体について検討する委員会です。

昨年度の会計処理運用検討ワーキングの報告書を受けて、本年度は、会計処理の管理・運用手続の見直しを検討し、更に予備費、事業の棚卸のルール化、財務改善専門員等を検討しております。

また、ITによって進化する会計処理にも対応して行けるよう財務委員会で検討する必要があると考えています。

【不正競争防止法委員会】

不正競争防止法委員会は、不正競争防止法（不競法）に関する政策提言の作成、調査研究等を行う委員会です。

昨今におけるAIやIoT等の技術の飛躍的進歩、

ビッグデータの取り扱いの複雑化等に、特許だけでは顧客のビジネス展開をサポートすることが困難になっている現状から著作権、不競法の活用が極めて重要になっています。そのニーズに応えるため、不正競争防止法委員会では様々な角度から検討を進めています。

今後は、ビッグデータの活用事例等をヒアリングなどして収集し、弁理士の活動に生かせるよう検討を進めます。

【知財プレゼンス向上委員会】

知財プレゼンス向上委員会は、知的財産（知財）のプレゼンスを向上させるために、企業、アカデミア、特許事務所の弁理士が共同して検討する新設の委員会です。

本年度は、オープンイノベーションの観点から検討を進め、8月の委員会では、清水会長に出席して頂いて、全員が各自の提言をプレゼンしました。後半は、外部との意見交換会を開催して、知財プレゼンスの向上を深く検討して行きます。

知財のプレゼンス向上は、本会単独で実現できるものではありませんので、関係団体と連携しながら「One Team」の精神で進めて参ります。これは、現在の本会が推進しております「絆」プロジェクトの活動にも通じるものです。

【監事会】

監事会は、選挙で選出された10名の監事と2名の外部監事によって構成されており、毎回、会務監査と会計監査とが行われます。私は財務担当として毎月の会計状況を報告して監査して頂いております。

監事会に出席して、役員の実行は全て監査の対象であり、その行動に対しては公正かつ適正に説明する責任があると認識させられます。

【九州会】

九州会では、6月に職員を採用し、10月の総会で承認されて、2019年内に同じビル内で九州会事務所を移転しました。2012年に153名であった九

州会会員が2019年9月時点では265名と増大し、「く」の字に折り曲がった手狭なオフィスから少し広めの使い勝手の良いオフィスに移転しましたので、九州会の活動は益々活発になると期待できます。

9月に九州経産局、福岡県、福岡市のスタートアップカフェを訪問し、九州会の会員と意見交換しました。第4番目の会員数を擁する地域会として、本会と連携しながら地域産業の活性化に向けての活動を期待しています。

3. おわりに

テーマに挙げさせて頂きました「Beyond ザ 知財 (Beyond the IP)」は、近年のスタートアップ・ベンチャーの経営者から弁理士に求められているテーマだと実感しております。特許、実用新案、意匠、商標を取得した先に、知財の権利を総合的に活用してビジネスの優位性を抽象的ではなく具体的にデザインして示せないで、経営者達は知財をビジネス戦略に組み込むことができません。つまり、権利化する知財又は権利化した知財、その他の知財の先にある風景を我々弁理士が、オープン&クローズ戦略、ブランド戦略、コアビジネス戦略等により描き出して経営者達に提示すると共に、知財の現場で実効性のある戦術を用いて成果を出すことが試されています。

弁理士の仕事は、日々変化して進化しております。我々弁理士の活動環境を整備し、知財のプレゼンス向上に向けて会務運営に取り組んで参りますので、引き続き連合の会員の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。



この一年を振り返って



弁理士連合クラブ副幹事長
伊賀 誠司

令和最初の塩野谷英城幹事長の下、弁理士連合クラブの副幹事長を勤めました伊賀誠司です。機関誌の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。在任中は、会員の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

私は、弁理士同友会推薦の副幹事長として執行部入りしました。連合クラブの副幹事長職は、平成20年度に小川眞一先生が幹事長を務められた時の執行部入り以来約11年ぶりの2回目です。塩野谷幹事長とは、日本弁理士会関東支部（現関東会）埼玉委員会で共に活動した旧知の仲でしたので、快く参加させて頂きました。私の担当は、政策・役協・調整と重たい委員会ばかりでしたが、これも仕方なしと引き受けました。以下、委員会毎に今年度の会務をご報告致します。

政策委員会

委員長に潮太郎先生（弁ク）、副委員長に中原文彦先生（同友）にお引き受け頂きました。

今年は同友会推薦の日本弁理士会副会長がいないことから、弁理士会の情報共有のため、弁理士クラブ推薦の副会長である船津暢宏先生にお骨折り頂き、5月27日と10月9日の2回にわたり、意見交換会を開催して頂きました。それぞれ弁理士会の定時総会前、臨時総会前に開催しましたので、ここで議論した結果をまとめ、弁理士会に対し、総会への事前質問書や意見書として提出しました。これら意見書等の作成にあたっては、潮委員長に取りまとめをお

願いし、政策委員会の各委員の方々や各クラブの幹事長等に対しメール会議等で発信し、意見収集をしてまとめて頂きました。

また、その他にも、各クラブからの意見を基に「弁理士会館1階改修WGからの中間報告に関する意見書」や「事務所単位の利益相反管理等の改正案に関する意見書」を連合政策として取りまとめて頂き、塩野谷幹事長名義で弁理士会に提出しました。

このように政策委員会には活発な活動をして頂きました。その結果、政策委員会は、メール会議や拡大政策委員会を含め計6回の開催を数えました。政策意見の取りまとめや意見交換会の開催手配等、潮委員長及び中原副委員長には大活躍して頂きました。改めて感謝申し上げます。

役員協議委員会

委員長に山川茂樹先生（弁ク）、副委員長に藤浪一郎先生（同友）にお引き受け頂きました。

令和2年度日本弁理士会役員選挙は、監事と関東選挙区常議員が投票選挙となる大波乱の展開となりました。そのため、山川委員長、藤波副委員長には選挙戦に関し、大変なご苦勞をお願いすることになりました。投票選挙に係る連合推薦の各候補者については、各クラブにおいて全員当選を目指し頑張って頂きました。特に、監事候補の小林保先生については、弁ク・同友の総力体制で臨み、無事当選を果たすことができました。一方、常議員候補については各クラブでそれぞれ努力して頂きましたが、同友

会推薦の常議員候補1名が涙を飲む結果となり、全員当選とはなりません。残念でなりません。今回の無念を教訓に次年度以降の役員選挙に活かして頂ければと思います。

連合クラブ主催の当選祝賀会は、他会派との関係もありますので例年通り開催しました。この当選祝賀会の準備・開催においては、山川委員長及び藤浪副委員長を始めとする役協委員及び総務委員の方々に大活躍頂きました。実際に集まったのは3回でしたが、頻繁にメール会議等で打ち合わせして頂きました。大変ご苦労様でした。感謝致します。特に、山川委員長の企画力、藤浪副委員長の行動力には恐れ入りました。この2人に任せれば全く安心でした。

なお、自らが常議員当選者でありながら、祝賀会のアトラクション（フラメンカ）を企画し協力頂いた松本直子副幹事長にも感謝致します。また、司会を務めて頂いた川崎ひかり先生（同友）、笠原翔先生（弁ク）、色々陰ながらアシスト頂いた高下雅弘先生（同友）、ありがとうございました。おかげで盛会とすることができました。

調整委員会

委員長に丸山英一先生（同友）、副委員長に中川祐幸先生（弁ク）にお引き受け頂きました。しかしながら、今年度は特に調整委員会の活動はありませんでした。

今年は、上記委員会活動の他にも、連合クラブのおかげで、2月の定時総会に始まり、3月の近畿遠征、日弁・西日本及び連合の各旅行会に、9月の定時総会と役員選挙、及び11月の臨時総会・当選祝賀会と一年間フルに充実した日々を過ごすことができました。最後になりますが、このような日々を過ごし、仮にも副幹事長としての職務を全うできたのは、塩野谷幹事長を始め、潮政策委員長、中原政策副委員長、山川役協委員長、藤浪役協副委員長及び政策委員、役協委員並びに総務委員の皆様の他、瀧澤匡則副幹事長、松本副幹事長、笹野拓馬総務委員長、会計の三苦貴織総務副委員長、それに弁理士ク

ラブの今堀克彦幹事長、弁理士同友会の高田大輔幹事長、並びに会員の皆様のご指導・ご協力があったからこそであり、ここに深く感謝申し上げ、私の会務報告と致します。一年間ありがとうございました。



令和元年度の会務を振り返って



弁理士連合クラブ副幹事長
瀧澤 匡則

弁理士連合クラブの会員の先生方、いつも会務へのご協力をいただき、ありがとうございます。令和元年度弁理士連合クラブの副幹事長を務めました弁理士クラブ所属の瀧澤匡則です。塩野谷英城幹事長の下、会務を執行して参りましたが本稿執筆時点において今年度も残り2か月を切り、残りの会務も数えるほどとなって参りました。機関誌の発行にあたり、ご挨拶と小職の担当である企画委員会及び研修委員会の会務の報告をさせていただきます。

まず、企画委員会についてですが、企画委員会では、弁理士連合クラブホームページの維持及び管理、弁理士連合クラブ旅行会の実施、本誌「連合」の発行準備を主に行いました。旅行会の実施に関しては笹川拓委員長を中心に、ホームページの維持管理と「連合」の発行に関しては須藤淳副委員長を中心に1年間動いてまいりました。

ホームページについては、例年通り必要に応じて弁理士連合クラブのホームページの内容を更新してまいりました。今年度特に大きく変更した点はございませんでした。

旅行会は、3月の旅行先の選定に始まり下見や2日目の観光の立案等やるのが非常に多岐にわたり、笹川先生もかなり大変だったのではないかと思います。旅行先は、幹事長などにも相談をし、越後湯沢を選びました。比較的近場で会員の負担が小さい場所でありながら、なかなか会派の旅行会では来たことのない場所である、というのが選定の主な理由でありました。2日目の観光については、連合での下

見とは別に笹川先生がプライベートの時間を割いて下見に行ってくださいましたこともあり、非常に内容の濃い観光になったと思います。参加された先生方の評判も上々でした。また、旅行会2日目に行われた恒例のゴルフ大会については、岩田耕一委員が主に企画を担当してくださいました。突然のハプニング等もあったようですが、岩田先生、須藤先生の的確な判断もあり、無事ゴルフ大会を終えることができました。旅行会に参加された先生方、委員の先生方、どうもありがとうございました。

なお、旅行会2日目の9月8日には、千葉県に大変な被害を及ぼした台風15号の影響で、夕方より新幹線や電車の運休が相次ぎました。関西からゴルフに参加された先生の中には、その日のうちに帰宅できず一晩を東京にて過ごすなければならなかった先生もいらっしゃったと伺っております。関西から参加された先生方には、この場を借りてお詫び申し上げます。運休が予想よりもだいぶ早い時間に始まったとはいえ、この点については今後の課題であるといえそうです。

機関誌「連合」については、本稿執筆時点において各先生方への執筆依頼を終え原稿上がりを待っているところです。11月中に原稿をいただき、12月には須藤先生を中心に委員の先生方と共に発行準備を進めていく予定です。年明けの早いうちに弁理士連合クラブのホームページにアップすることを目標に頑張っております。

小職のもう一方の担当であった研修委員会では、

小國泰弘委員長を中心にして、上記旅行会において研修を開催いたしました。弁理士クラブ会員の田中宏明先生を講師に迎え、テーマを「A I 関連発明の特許事例と最近の動向 ～A I 関連発明をどのように権利化すべきか～」とした研修で、研修には弁理士会会長も参加されていました。宴会時の挨拶において、清水会長も非常にわかりやすく勉強になったと仰っており、他の参加者の先生方からも非常に良い評価をいただくことができました。旅行会の企画に時間が取られる中、ベテランの小國先生におんぶに抱っここの状態でしたが、立派な研修会を企画実行してくださりました。小國先生、研修委員の先生方ありがとうございました。

最後に、今年1年間ご指導いただきました塩野谷英城幹事長、弁理士連合クラブの活動へ多大なご協力をいただきました高田大輔弁理士同友会幹事長、今堀克彦弁理士クラブ幹事長、多大なご尽力をいただきました各委員の先生方に改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



皆様に支えられての1年でした

弁理士連合クラブ副幹事長
松本 直子



令和元年度、弁理士連合クラブの副幹事長を拝命しております松本直子と申します。塩野谷幹事長の下、弁理士同友会選出の副幹事長として総務委員会を担当させていただきました。機関紙の発行にあたり、ご挨拶を申し上げます。

さて、本年度は、日本弁理士会役員のうち、監事と常議員選出の選挙となりました。私自身も弁理士連合クラブの推薦をいただきまして、常議員に立候補し、当選を果たすことができました。塩野谷幹事長をはじめ伊賀副幹事長、役員協議委員会の山川茂樹委員長、藤浪一郎副委員長、委員の皆様には本当にお世話になりました。また選挙運動期間中は、あまり面識がないにも関わらず、会員の先生方に声をかけていただき、とても励みになりました。皆様に支えられているのだということを、痛感した瞬間でもあります。この場をお借りしまして、御礼申し上げます。

総務委員会としての会務について、報告申し上げますと、まず新年度になってすぐ、2月に定時総会、幹事会が行われます。前年度会計を担当させていただいておりましたので、予算の流れについては理解していたものの、準備、運営の仕事に関しては不慣れで、笹野拓馬委員長に助けていただき、なんとか乗り切る事ができました。

3月に催される東海協議会主催の「現役員慰労会及び新役員激励会」、西日本弁理士クラブ主催の「現役員慰労会および新役員激励会」や、7月に催される他会派主催の旅行会では、お会いする機会の

少ない東海、西日本の先生方や、各会派の先生方と交流を持ちました。私自身にとっては、弁理士会全体を知る貴重な機会となりました。

9月になりますと、日本弁理士会役員選挙に向けての総会を開催し、併せて会計の中間報告を行います。会計担当副委員長の三苦貴織先生には、お忙しい中、会計報告を作成いただきました。また、この後11月の臨時総会においても、迅速にご対応いただき、ありがとうございました。

11月の臨時総会・幹事会では、次年度幹事長の選出につきまして、会員の皆様に無事ご承認いただきました。

実はこの総会、総務担当副幹事長として、年度末最後の重要な会務であるわけですが、総会後の当選祝賀会におきまして、アトラクションのフラメンコの企画・手配を行なっており、準備のため、自身は欠席させていただくということになってしまいました。



た。どうしても総会開催時刻と祝賀会の開催時刻が重なり、苦慮していたところ、塩野谷幹事長、伊賀副幹事長、瀧澤副幹事長、笹野総務委員長に助けていただくこととなりました。おかげさまで、フラメンコも無事皆様に披露する事ができ、ご好評をいただいたようで、ホッと安堵いたしました。

この祝賀会では、総務委員の先生方にも受付など担当していただき、ご尽力いただきました。本当にありがとうございました。

本来2つの委員会を担当すべきところ、伊賀副幹事長にご配慮いただき、総務委員会のみを担当させていただくなど、最初から甘えっぱなしの会務活動でしたが、塩野谷先生をはじめ執行部の皆様、笹野委員長に支えられて、何とか会務を終える事ができました。重ねて申し上げますが、1年間、本当にどうもありがとうございました！



令和元年度弁理士連合クラブのあゆみ

(2019.1. 1 ~ 2019.12.31)

総務委員会 委員長 笹野 拓馬

- 平成31年 1月18日 日本弁理士会 次年度人事委員会／関東会 次年度人事委員会
1月18日以降、1月30日、2月15日、3月14日に開催
- 2月 8日 第1回正副幹事長会／第1回総務委員会
新旧引継ぎ
- 2月15日 十派幹事長会
- 2月26日 第1回幹事会、第1回定時総会、懇親会
事業報告、決算、事業計画、予算、人事報告等
- 2月28日 機関紙『連合』第29号 発行
- 3月 8日 東海協議会／慰労・激励会
西日本弁理士クラブ／慰労・激励会
- 3月14日 会派役員及び弁政連正副会長による懇談会
- 3月15日 企画委員会・研修委員会
新旧引き継ぎ、旅行会の企画検討
- 4月 3日 機関紙『連合』第29号 ホームページに掲載
- 4月18日 日本弁理士会 議案説明会
定時総会議案の説明
- 令和元年 5月27日 第1回政策委員会
船津副会長との日本弁理士会定時総会前の意見交換会
- 5月30日 第2回政策委員会（メール会議）
日本弁理士会定時総会への事前質問の検討
- 5月31日 日本弁理士会 定時総会
- 6月 1日 企画委員会 旅行会下見（越後湯沢）
～2日 旅行会に関するホテル・観光先の下見
- 6月15日 日本弁理士クラブ旅行会（静岡県・伊東）
～16日
- 7月 1日 日本弁理士会120周年記念事業への参加
- 7月 3日 第1回企画委員会
- 7月13日 西日本弁理士クラブ親睦旅行会（岡山県・倉敷）
～14日
- 7月29日 執行部と役協正副委員長との打ち合わせ会
役協委員会準備

- 8月9日 第3回政策委員会（メール会議）
日本弁理士会館1階改修検討WGからの中間報告に関する意見書の検討
- 8月26日 三派幹事長会
選挙協議
- 8月27日 日本弁理士会役員選挙説明会
- 8月27日 第1回役員協議委員会
日本弁理士会役員定時選挙への対応等
- 9月6日 第2回幹事会、第2回定時総会
令和2年度日本弁理士会役員（副会長・監事・常議員）候補予定者の推薦の件
- 9月7日 連合旅行会（新潟県・越後湯沢）
第1回研修：「A I 関連発明の特許事例と最近の動向
～A I 関連発明をどのように権利化すべきか～」
講師：田中宏明先生 会場：ホテル双葉
- 9月7日 三派幹事長会
選挙協議
- 9月9日 令和2年度日本弁理士会役員定時選挙の立候補受付・選挙運動開始
- 9月11日 令和2年度日本弁理士会役員定時選挙の立候補受付終了
- 9月12日 二派幹事長会
日本弁理士クラブ幹事長との選挙協議
- 9月13日 第1回拡大役員協議委員会
- 9月18日 日本弁理士会 議案説明会
臨時総会議案の説明
- 9月26日 第2回拡大役員協議委員会
- 10月8日 第2回役員協議委員会
- 10月9日 第4回政策委員会
第2回船津副会長との意見交換会
- 10月17日 令和2年度日本弁理士会役員定時選挙 開票、開票結果公示、当選人の決定及び公示
- 10月25日 日本弁理士会 臨時総会
- 10月28日 第5回政策委員会（メール会議）
三派向け議案説明会への意見聴取
- 11月12日 第3回役員協議委員会
- 11月25日 第6回政策委員会（拡大政策委員会）
事務所単位の利益相反管理の改正案についての検討
- 11月26日 日本弁理士会 三派説明会
事務所単位の利益相反管理の改正案について
- 11月27日 第3回幹事会、第1回臨時総会
令和2年度弁理士連合クラブ役員を選任について承認を求める件
- 11月27日 連合主催 日本弁理士会役員定時選挙当選祝賀会
- 11月28日 日本弁理士クラブ主催 日本弁理士会役員定時選挙当選祝賀会

以上

総務委員会

委員長 笹野 拓馬

1. 委員会の構成

委員長 笹野 拓馬 (同友)
副委員長 三 苦 貴 織 (弁ク)
委員 山下 幸彦 (同友)
関 大 祐 (同友)
村 野 直 仁 (弁ク)
武 田 侑 希 (弁ク)
担当副幹事長 松 本 直 子 (同友)

2. 職務権限

会員の連絡及び会議場所の設営、会議の開催に関する事項、その他、他の委員会の職務に属しない事項を行う。

3. 諮問事項

- (1) 総会及び幹事会その他、他の委員会以外の会議の会場の設営、開催の通知、及び会議の運営、委員会及び委員への連絡及び会計に関する事項の審議及びその実行
- (2) 特に定時総会の開催時期を中心として本会の会則等改正の審議及び答申

4. 活動報告

- (1) 第1回幹事会／第1回定時総会

開催日時 平成31年2月26日 (火)
幹事会 18:00～／定時総会 18:30～
場 所 弁理士会館
議 案

- ①第1号議案(趣旨説明：瀧澤 匡則 副幹事長)
平成30年度弁理士連合クラブ事業報告の承認を求める件
- ②第2号議案(趣旨説明：松本 直子 副幹事長)
平成30年度弁理士連合クラブ会計報告の承認を求める件

- ③第3号議案(趣旨説明：塩野谷 英城 幹事長)
平成31年度弁理士連合クラブ事業計画の承認を求める件
- ④第4号議案(趣旨説明：伊賀 誠司 副幹事長)
平成31年度弁理士連合クラブ予算の承認を求める件
- ⑤第5号議案(趣旨説明：塩野谷 英城 幹事長)
役員協議委員会委員長の2年ごと持ち回りについて承認を求める件
- ⑥報告事項(報告者：塩野谷 英城 幹事長)
平成31年度弁理士連合クラブ役員、委員等選任に関する報告
- ⑦その他

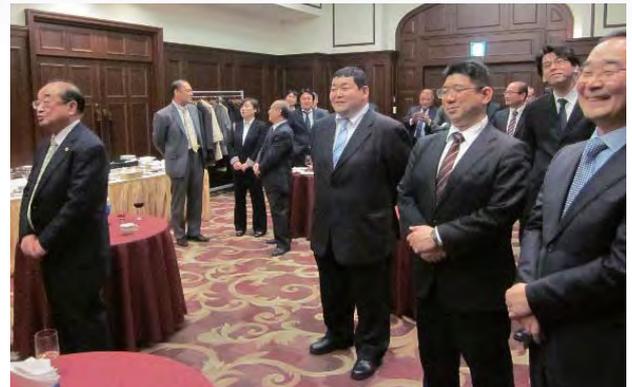
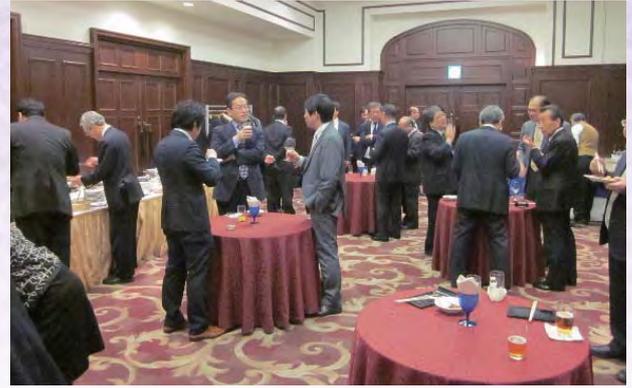
- (2) 懇親会

開催日時 平成31年2月26日 (火)
19:15～21:00

場 所 霞山会館

司 会 総務担当副幹事長 松本 直子
式 次 第

- ①開会の辞 瀧澤 匡則 (副幹事長)
- ②幹事長挨拶 塩野谷 英城 (幹事長)
- ③ご挨拶
日本弁理士会副会長 黒田 勇治 殿
- ④乾 杯 相談役 石川 憲 殿
- ⑤鈴木知前幹事長への感謝状・記念品の贈呈
塩野谷英城 (幹事長)
- ⑥お礼の辞 前幹事長 鈴木 知 殿
- ⑦ご挨拶
弁理士同友会幹事長 高田 大輔 殿
弁理士クラブ幹事長 今堀 克彦 殿
< 歓 談 >



⑧日本弁理士会執行役員会の会務報告

日本弁理士会執行理事 山川 茂樹 殿

日本弁理士会執行理事 山田 武史 殿

⑨閉会の辞 伊賀 誠司 (副幹事長)

(3) 第2回幹事会／第2回定時総会

開催日時 令和元年9月6日 (金)

幹事会 18:00～／定時総会 18:30～

場 所 AP虎ノ門 (貸会議室)

議 案

①第1号議案(趣旨説明：伊賀 誠司 副幹事長)

令和2年度日本弁理士会役員 (副会長・監事・常議員) 候補予定者の推薦について承認を求める件

②報告事項1 (報告者：瀧澤 匡則 副幹事長)

令和元年度弁理士連合クラブ 会務中間報告

③報告事項2 (報告者：松本 直子 副幹事長)

令和元年度弁理士連合クラブ 会計中間報告

④その他

役員選挙候補予定者 (副会長・監事・常議員) からの挨拶

(4) 第3回幹事会／第1回臨時総会

開催日時 令和元年11月27日 (水)

幹事会 17:00～／定時総会 17:30～

場 所 AP虎ノ門 (貸会議室)

議 案

①第1号議案(趣旨説明：塩野谷 英城 幹事長)

令和2年度弁理士連合クラブ役員の選任について承認を求める件

②報告事項1 (報告者：伊賀 誠司 副幹事長)

令和元年度弁理士連合クラブ 会務中間報告

③報告事項2 (報告者：瀧澤 匡則 副幹事長)

令和元年度弁理士連合クラブ 会計中間報告

④その他

次期弁理士連合クラブ幹事長からの挨拶

以上

政策委員会

委員長 潮 太朗

1. 委員会の構成

委員長 潮 太朗 (弁ク)

副委員長 中 原文彦 (同友)

委員

(1) 弁理士同友会 委員

古 谷 史 旺

小 林 保

長 内 行 雄

山 崎 高 明

丸 山 英 一

横 田 香 澄

(2) 弁理士クラブ 委員

濱 田 百合子

中 川 裕 幸

今 堀 克 彦

奥 川 勝 利

高 橋 堅

加 藤 和 孝

担当副幹事長 伊 賀 誠 司 (同友)

2019.5.30 第2回政策委員会 (メール会議)
日本弁理士会 総会への事前質問の検討を行う。

2019.8.9 第3回政策委員会 (メール会議)
弁理士会館 1階改修検討WGからの中間報告に関する意見書の検討。

2019.9.25 第3回常議員会の議案説明会

2019.10.9 第4回政策委員会 (第2回意見交換会)
船津 暢宏 副会長をお招きし、「弁理士絆プロジェクトの正体と進捗状況、スタートアップ・ベンチャーと弁理士、その他」について意見募集を行う。

2019.10.28 第5回政策委員会 (メール会議)
三派向け議案説明会への意見聴取。

2019.11.25 第6回政策委員会 (拡大政策委員会)
事務所単位の利益相反管理の改正案についての検討。

2019.11.26 三派向け議案説明会。

2. 職務権限

政策委員会は、日本弁理士会の会務の執行上の諸政策についての調査、研究に関する事項を行う。

3. 諮問事項

- (1) 日本弁理士会の常議員会、総会への対応
- (2) 日本弁理士会からの意見募集への対応
- (3) 「次期弁理士法改正項目」に関する意見・提言

4. 活動報告

2019.2.26 連合総会

2019.4.19 日本弁理士会 平成31年度第2回常議員会議案説明会

2019.5.27 第1回政策委員会 (第1回意見交換会)
船津 暢宏 副会長をお招きし、「弁理士と弁理士会の未来について～総会の議題 (主に弁理士会の事業計画) を中心」に意見募集を行う。

<雑感>

今年度、塩野谷 英城幹事長の下で、政策委員長を務めさせて頂く機会を頂きました。今年度も、政策委員の皆さまにメール等で各審議事項に関する資料送付を行い、その意見募集やメール会議を開催させて頂きました。

また、上記の通り2回に渡り、船津 暢宏 副会長をお招きして本会の活動に関する最新の情報をご提供頂くとともに、政策委員の皆さまを始め参加会員各位と活発に意見を交換することができました。改めまして、塩野谷幹事長、船津副会長、政策委員の皆さまを始めとする関係者各位に感謝致します。おかげで、政策委員会としての意見をまとめることができました。

最後に、なりますが、一年間お世話になりました。皆様のご協力・ご支援に心より感謝し、厚く御礼申し上げます。

以上

企画委員会

委員長 笹川 拓

1. 委員会の構成

委員長	笹川	拓 (同友)
副委員長	須藤	淳 (弁ク)
委員	小島	猛 (同友)
	絹谷	晴久 (弁ク)
	岩田	耕一 (弁ク)
	河合	利恵 (同友)
担当副幹事長	瀧澤	匡則 (弁ク)

2. 職務権限

本会の運営の改善及び新規会員の増加対策等の調査、研究並びに機関紙の編集、発行に関する事項を行う。

3. 諮問事項

- (1) 旅行会、ゴルフ大会、その他会員相互の親睦を図るための行事の企画及びその実行
- (2) 他会派との積極的な交流を図るための行事の企画及びその実行
- (3) 機関誌の発行
- (4) 弁理士連合クラブの組織活性化のための方策の立案及びその実行
- (5) 弁理士連合クラブのホームページの維持及び管理

4. 活動報告

- (1) 第1回企画委員会

日時：令和元年7月3日

場所：弁理士会館地下1階会議室

議題：旅行会の企画検討、ホームページの管理について

- (2) 令和元年度弁理士連合クラブ旅行会の実施

令和元年9月7日(土)～8日(日)にかけて

越後湯沢「水が織りなす越後の宿 ホテル双葉」において開催した。研修講師1名を含め74名もの先生方の参加を得て盛大に開催された。

- (3) 令和元年度弁理士連合クラブ旅行会ゴルフ大会
例年通り、旅行会の2日目に「初穂カントリークラブ」において弁理士連合クラブ旅行会ゴルフ大会を開催。天候にも恵まれ、11名の参加を得た。

- (4) 令和元年度弁理士連合クラブ旅行会観光

こちらも例年通り、今年もゴルフ大会とは別に観光を手配した。「新潟県中越地方の自然・文化・食を楽しむ旅」と銘打った観光に32名の先生方が参加された。チャーターバスを使用して、①日本三大峡谷「清津峡」、②「三国街道塩沢宿の牧之通り」、③魚沼産塩沢コシヒカリの両手すくいどり大会、④「雲洞庵」、④へぎそば・天ぷら・お酒とともに昼食を楽しんだ。

- (5) ホームページの維持、管理

弁理士連合クラブのホームページのコンテンツ(幹事長挨拶、組織図、年間行事)のアップデートを行った。

- (6) 機関紙の発行

令和2年1月末にホームページを通じて発行する予定である。

役員協議委員会

委員長 山川 茂樹

1. 委員会の構成

委員長	山川 茂樹 (弁ク)
副委員長	藤浪 一郎 (同友)
委員	高下 雅弘 (同友)
	服部 綾子 (同友)
	厚木 薫 (弁ク)
	笠原 翔 (弁ク)
担当副幹事長	伊賀 誠司 (同友)

2. 職務権限

日本弁理士会の役員選挙に関する事項を審議し、選挙活動の統括を行う。

3. 委嘱事項

- (1) 令和2年度日本弁理士会役員選挙への対応
- (2) 令和2年度日本弁理士会役員当選祝賀会の企画及び実行

4. 活動報告

- (1) 7月29日 正副幹事長および正副委員長で、本年度の選挙情勢、選挙日程、当選祝賀会についての検討を行った。
- (2) 8月27日 午後3時から選挙管理委員会主催の説明会に委員長等が出席した。また、夕刻より第1回役員協議委員会を開催し、役員選挙の情勢の分析、役員選挙への対応の検討、当選祝賀会の日程および会場等について確認した。
- (3) 9月13日 監事および常議員（関東選挙区）が投票選挙となったことを受けて第1回拡大役員協議委員会を開催し、単位クラブとともに情報共有と選挙運動の方針のすり合わせを行った。
- (4) 9月26日 第2回拡大役員協議委員会を開催し、単位クラブとともに情報共有と選挙運動終盤の運動方針の確認を行った。

- (5) 10月8日 第2回役員協議委員会を開催し、当選祝賀会に向けた各種案内状の確認、式次第およびアトラクションの検討、その他当日までに行うべき事項の確認を行った。委員会終了後、懇親会を行った。
- (6) 10月22日 東海大学校友会館と当選祝賀会の費用見積等、打ち合わせを行った。
- (7) 10月24日 ご来賓向け招待状を送付するとともに、会員向け案内状の展開を各单位クラブに依頼した。
- (8) 11月8日 当選者およびご来賓の胸章の筆耕を発注した。
- (9) 11月12日 第3回役員協議委員会を開催し、祝賀会当日の式次第、受付、アトラクション、登壇者への連絡その他の事項について検討、確認を行った。
- (10) 11月13日 当日配布用の式次第の印刷を発注した。
- (11) 11月23日 東海大学校友会館と当選祝賀会の段取り等について打ち合わせを行った。
- (12) 11月27日 午後6時30分より、東海大学校友会館「望星の間」において令和2年度日本弁理士会役員当選祝賀会を行った。参加者は、ご来賓27名を含め総勢70名であった。アトラクションとして、ベニート・ガルシア舞踏団のダンサー5名によるフラメンコが披露され、大いに盛り上がった。

本年度は、会長選挙が行われない年であったが、監事および常議員（関東選挙区）で投票選挙となる異例の年であった。当クラブが推薦した候補者全員の当選はならなかったことは残念であったが、次につながることを期待したい。

最後に、当選祝賀会で司会を務めて下さった川崎

ひかりと笠原翔先生、および受付等を努めて下さった総務委員会委員他の先生方にこの場を借りて御礼申し上げます。

5. 弁理士連合クラブ推薦の当選者

副会長	濱田百合子 (弁ク)
副会長	茜ヶ久保公二 (同友)
監事	小林保 (同友)
常議員(関東選挙区)	齋藤美晴 (弁ク)
常議員(東海選挙区)	富澤孝 (弁ク)
常議員(関東選挙区)	三苫貴織 (弁ク)
常議員(関東選挙区)	加藤和孝 (弁ク)
常議員(関東選挙区)	松本直子 (同友)
常議員(関東選挙区)	吉田倫太郎 (同友)

研修委員会

委員長 小國 泰弘

1. 委員会の構成

委員長 小國 泰弘 (弁ク)
副委員長 谷口 登 (同友)
委員 茜ヶ久保公二 (同友)
美川 公 司 (弁ク)
駒場 大 視 (同友)
担当副幹事長 瀧澤 匡 則 (弁ク)

2. 職務権限

研修委員会は、弁理士制度、知的財産権制度、司法制度及び科学技術に関する研修を行い、会員の啓蒙を行う。

3. 諮問事項

- (1) 弁理士制度、知的財産権制度、司法制度及び科学技術に関する研修の開催（弁理士としてのスキルアップ用研修の開催）
- (2) その他、必要があれば、連合会員にとって有益な研修の開催

4. 活動報告

本年度は、新潟県南魚沼郡湯沢町湯沢で行われた令和元年度弁理士連合クラブ旅行会において、下記のとおり研修会を開催しました。

研修テーマ：

「A I 関連発明の特許事例と最近の動向
～A I 関連発明をどのように権利化すべきか～」

日 時：令和元年9月7日（土）

15：00～16：00

講 師：弁理士 田中 宏明 先生

(特許業務法人太陽国際特許事務所・
弁理士クラブA I 検討会第1 部会長)

会 場：越後湯沢「ホテル双葉」

参加人数：30名

内 容：

本年度は、弁理士クラブA I 検討会第1 部会長としてご活躍されている田中宏明先生を講師にお迎えし、A I 関連発明の特許事例及び最近の動向と、それらを踏まえたA I 関連発明の権利化についてご講演を頂きました。

ご講演は、A I 関連発明の特許出願状況から始まり、ニューラルネットワーク等のA I 技術の主要な技術要素、具体的な特許出願事例、進歩性事例の全体像、及びGoogleのA I 特許のお話に加えて、クレームドラフティングについての解説もあるなど多岐にわたるものでした。

A I 関連発明はタイムイリーなトピックといえ、それを懇切丁寧に分かりやすく、ご講演頂きましたので、受講生にとっては非常に有益なものであったと思います。

5. おわりに

ご多忙にも拘らず、連合旅行会での講師をお引き受け頂いた田中宏明先生にはこの場を借りて深く感謝申し上げます。

以 上

第29回連合旅行会・ゴルフ大会

令和元年9月7日(土)～8日(日) 新潟県越後湯沢 ホテル双葉 初穂カントリークラブ

「令和」最初の旅行会は越後湯沢！

企画委員長 笹川 拓



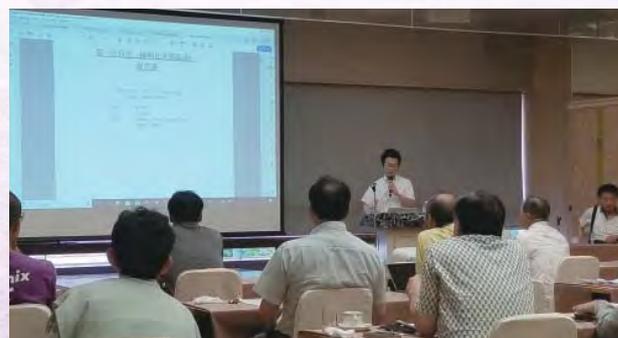
元号も令和へと変わり、令和最初の旅行会は、9月7日(土)～8日(日)に新潟県越後湯沢で「水が織りなす越後の宿 ホテル双葉」に宿泊しました。越後湯沢というと、スキーのイメージや、川端康成の名作『雪国』の舞台のイメージが強く、スキーシーズン以外に、越後湯沢を訪れるのは、企画・運営側にとっても新鮮でした。

この越後湯沢、「湯沢」の字からも明らかなように温泉地であり、この温泉街は新幹線の停車する越後湯沢駅の目の前と、立地も最高です。

そのため、ホテルまで歩いて来られる参加者が多く、また、各自、越後湯沢駅周辺の観光スポットを巡り、楽しまれたようです。

さて、旅行会は、例年通り、研修会で幕を開けます。研修会では、弁理士クラブの田中宏明先生から

「AI関連発明の特許事例と最近の動向 ～AI関連発明をどのように権利化すべきか～」についてご講演いただきました。受付等の対応もあり、私は参加できませんでしたが、扱う分野が全く異なる受講者が聴いても非常にわかりやすい講義だったと非常に好評でした。多くの先生方をご参加下さり、関心も随分高かったようです。



研修会

研修会後は、温泉タイムです。宿泊したホテル双葉は、「水が織りなす越後の宿」とあるように浴場に力を入れており、温泉を参加者に楽しんでいただくべく、今年は研修会を早い時間から始めて、宴会前の写真撮影まで、温泉にゆっくり浸かれる時間設定としました。参加者には日ごろの疲れを癒すなど、思い思いの時間を過ごしていただきました。

写真撮影は、皆様のご協力により、スムーズに行うことができました。この場を借りて御礼申し上げます。

写真撮影の後は、いよいよ宴会のスタートです。まずは、弁理士連合クラブ幹事長の塩野谷英城先生によるご挨拶に始まり、ご来賓の日本弁理士会会長清水善廣先生、日本弁理士クラブ幹事長福田伸一先生、西日本弁理士クラブ幹事長小谷昌崇先生からご挨拶を頂戴しました。そして乾杯は、弁理士連合クラブ相談役永井義久先生にご発声いただきました。この乾杯は、ホテルの用意した巨大な盃を永井先生が飲み干すことによって行われ、ホテル側の粋な趣向に参加者一同とても盛り上がりました。

乾杯で喉を潤した後は、コンパニオンさんも交え



た大宴会の開始です。各会派、年代関係なく、和気藹々とした賑やかな宴となり、あっという間に中締めめの時間になりました。

食事については、越後の地元の恵みを生かした素材で、旅館こだわりの様々な工夫を凝らした料理に舌鼓を打ち、ご満足いただけたように思います。特に、新潟と言えば、日本酒です。我々、運営側も越後の地酒を用意することに気を配った甲斐もあり、ものすごいスピードで大量の日本酒が消費されていく様子を見て、非常に嬉しく思いました。反面、予算的にはドキドキではありました。

宴会の中締めは、弁理士連合クラブ相談役の石川憲先生にお言葉をいただき、最後の閉会の辞は弁理士連合クラブ副幹事長瀧澤匡則先生にいただきました。

宴会の後の二次会は、館内のクラブに移動し、カラオケ大会です。ほぼすべての先生がご参加下さり、会場は溢れんばかりでした。カラオケは、プロ歌手「武蔵太郎」としての活動もする内田和男先生の美声に始まり、参加者から踊りも飛び出すなど大盛況でした。

二次会は22時で終了となりましたが、その後は三次会です。三次会用に幹事部屋を開放し、連合の参加者のみならず、日本弁理士会会長の清水善廣先生をはじめ来賓の多くの先生方にもご参加いただきました。三次会用に準備した酒、つまみはあっという間に無くなり、深夜までいろいろと語り合い、楽しい時間を過ごしていただけたと思います。

また、ラーメンで締めたいたいという先生方は、クラブ横にある食事処で食すなど、各々、楽しい時間を過ごしているようでした。



清水会長



福田先生



小谷先生



乾杯 永井先生



中締め 石川先生



閉会の辞 瀧澤先生



カラオケ大会



三次会風景

二日目は、観光組、ゴルフ組に分かれて行動しました。

観光は、32名もの先生から申し込みがあり、「新潟県中越地方の自然・文化・食を楽しむ旅」と題して、その名の通り、新潟県中越地方の自然、文化、食を満喫しました。

朝9時に貸し切りバスでホテルを出発し、まず、インスタ映えスポットとして知られた日本三大峡谷「清津峡」を巡りました。この清津峡ですが、1988年の落石以来、閉鎖されていましたが、雄大な清津峡の大自然を安全に楽しめるよう、1996年に全長



清津峡

750mの「清津峡渓谷トンネル」として復活したものです。暑い夏でもトンネル内はひんやりしており、快適な環境の中、3ヶ所の見晴所とトンネルの終点となるパノラマステーションから素晴らしい峡谷美を堪能することができました。

その後、全国有数の豪雪地である南魚沼市塩沢地区にある美しい街並み「三国街道塩沢宿の牧之（ぼくし）通り」を散策しました。この牧之通りは「北越雪譜」の作者、江戸後期の文人「鈴木牧之」が生涯を過ごした地です。北越雪譜は、江戸時代のベストセラーであり、世界最古の雪にまつわる書です。雪に風流を感じる江戸の人に、雪国のことは分かってもらえないとのメッセージが込められた書であり、江戸中で評判となり、これを置かぬ貸本屋には客が来なかったそうです。江戸の人にとっては外国の話のように思えたようです。

この牧之通りでは、まず、お米がプレゼントされる魚沼産塩沢コシヒカリの両手すくいどり大会を行いました。参加者は、両手を合わせてコシヒカリをすくいます。3合近くのお米をすくう先生もあり、非常に盛り上がりました。



牧之通り



お米のすくいどり大会

各自牧之通りで自由に散策した後、バス内で南魚沼産米のおにぎりを頬張りつつ、上杉景勝及び直江兼続が幼少期に学んだ寺として知られ、越後一の寺でありパワースポットとして名高い「雲洞庵」に向かいました。



雲洞庵

この雲洞庵、本当に雰囲気の良いお寺で、参加者からはもっと長い時間お寺にいたかったとの声が聞かれました。私としてはパワーというよりも癒しを得ることができるお寺と感じました。

その後の昼食は、天ぷら・お酒とともに布海苔（ふのり）という海藻を使ったそば「へぎそば」に舌鼓を打ちました。新潟の日本酒とへぎそばを併せて楽しむ参加者も多く、楽しい昼食となりました。



昼食後は、バスで越後湯沢に戻り解散となりますが、このバス内で、牧之通りでの魚沼産塩沢コシヒカリの両手すくいどり大会の結果発表と表彰式が行われました。

上位の先生には、新潟のお酒を始めとする各種賞

品が贈呈されました。中でも、新潟県魚沼市の玉川酒造のアルコール度数46度の日本酒「越後武士 さむらい」が登場した際は驚きの声が上がリ、なかなかの盛り上がりでした。

解散後、希望者は、越後湯沢駅内の日本酒試飲スポット「ぼんしゅ館」に突撃です。150種の新潟の地酒が揃えられており、圧巻の光景の中、参加者は思い思いに日本酒を堪能しました。



ぼんしゅ館

観光を楽しんでいる間、日本には、千葉県に大変な被害を及ぼした台風15号が近づいていました。その影響で、夕方より新幹線や電車の運休が相次ぐことが予想されたため、足早に新幹線へと飛び乗り、家路を急ぐ参加者の姿も見受けられました。

最後になりますが、令和最初の旅行会にご参加下さりました皆様には心からお礼を申し上げます。また、皆様には、不慣れな旅行会準備と進行のため色々とお不便とお迷惑をお掛けしたことと思います。この場を借りてお詫び申し上げます。旅行会の準備・運営にご尽力いただきました企画委員会の方には深く感謝いたします。

この旅行会が記憶に残る楽しい時間だったなと感じていただける先生方が少しでも多くいらっしゃれば幸いです。

ありがとうございました。



9月8日<ゴルフ大会の部>

ゴルフ大会幹事 岩田 耕一

令和初の弁理士連合クラブ旅行会ゴルフ大会は、群馬県沼田市にある「初穂カントリークラブ」で開催されました。

前日宿泊のホテル（越後湯沢温泉）から遠いこともあり、当日観光組の方々が使われる大型バスを、先に拝借しまして、13名で悠々・広々と乗車し、ゴルフ場に乗り込みました。天候のコンディションはと言いますと、今年の雨とは真逆の、絶好の残暑（笑）。少し体調を崩される先生もおられ、大変心配をしましたが、皆さまのご協力もあって、無事ゴルフ大会を開催するに至りました。

OUT/INコースそれぞれ2組で、和気あいあいとスタートし、新ペリア方式で順位を争いました。コースはと言いますと、雄大な赤城山や榛名山を一望できる高原地帯に、フラットで広々とした18ホールがレイアウトされており、すべての先生方に、気持ちよく思い切ってラウンドをしていただけたのではないかと思います。

結果のほうは、成績表をご覧ください。断トツのベストは、西日本弁理士クラブの田中達也先生でしたのに、あつかましくも、幹事の岩田（弁理士クラブ）が潤沢なハンデに恵まれてしまい、優勝させていただきました。表彰式は、当日の夜、関東地方に大型台風15号が接近するという予報もあったため、ク

第29回連合旅行会・ゴルフ大会成績

令和元年9月8日（日）

於：初穂カントリークラブ 新ペリア方式

順位	氏名(敬称略)	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	GROSS 順位
優勝	岩田 耕一	46	46	92	19.2	72.8	4
準優勝	田中 達也	41	39	80	6.0	74.0	1
3位	永井 義久	47	43	90	14.4	75.6	3
4位	井上 誠一	52	44	96	20.4	75.6	5
4位	石川 憲	46	50	96	20.4	75.6	5
6位	渡邊 一平	50	52	102	25.2	76.8	8
7位	吉村 俊一	43	45	88	10.8	77.2	2
8位	須藤 淳	52	59	111	33.6	77.4	11
9位	小西 恵	55	54	109	28.8	80.2	10
10位	菅原 峻一	50	52	102	21.6	80.4	8
11位	小越 一輝	51	47	98	16.8	81.2	7

ラブハウス・ロビーラウンジの一角で行いました。ゆっくり食事とドリンクを楽しんでいただくこともできず申し訳ありませんでしたが、皆さま無事に帰路につくことができ、なんとか幹事の役目を果たすことができました。始まりも終わりも、先生方のご理解とご協力があったからこそ今回のゴルフ大会でした。感謝とお礼を申し上げます。



令和元年度弁理士連合クラブ

役員・委員長・副委員長・委員

幹事長 塩野谷 英城（弁ク）

副幹事長 伊賀 誠司（同友）（政策、役員協議、調整）

瀧澤 匡則（弁ク）（企画、研修）

松本 直子（同友）（総務）

幹事（同友）林 實 小林 保 小川 眞一 丸山 英一 高田 大輔 吉田 倫太郎
（弁ク）中川 裕幸 小國 泰弘 今堀 克彦 奥川 勝利 加藤 和孝
潮 太朗

監事 永井 義久（弁ク） 長内 行雄（同友）

相談役（同友）原田 信市 菊池 新一 小池 晃 田辺 敏郎 古谷 史旺
小林 正治 吉田 芳春 小川 眞一 丸山 英一 粕川 敏夫
石川 憲

（弁ク）古谷 馨 山川 政樹 絹谷 信雄 伊藤 進 須山 佐一 中島 淳
木下 實三 永井 義久 川久保 新一 渡邊 一平 鈴木 知
山川 茂樹 山本 晃司

委員会

【総務委員会】

委員長 笹野 拓馬（同友）

副委員長 三苫 貴織（弁ク）

委員（同友）山下 幸彦 関 大祐
（弁ク）村野 直仁 武田 侑希

【政策委員会】

委員長 潮 太朗（弁ク）

副委員長 中原 文彦（同友）

委員（同友）古谷 史旺 小林 保 長内 行雄 丸山 英一 山崎 高明
横田 香澄
（弁ク）濱田 百合子 中川 裕幸 今堀 克彦 奥川 勝利 高橋 堅
加藤 和孝

【企画委員会】

委員 長 笹川 拓 (同友)
副委員 長 須藤 淳 (弁ク)
委 員 (同友) 小島 猛 河合 利恵
(弁ク) 絹谷 晴久 岩田 耕一

【役員協議委員会】

委員 長 山川 茂樹 (弁ク)
副委員 長 藤浪 一郎 (同友)
委 員 (同友) 高下 雅弘 服部 綾子
(弁ク) 笠原 翔 厚木 薫

【調整委員会】

委員 長 丸山 英一 (同友)
副委員 長 中川 裕幸 (弁ク)

【研修委員会】

委員 長 小國 泰弘 (弁ク)
副委員 長 谷口 登 (同友)
委 員 (同友) 茜ヶ久保 公二 駒場 大視
(弁ク) 関根 武彦 美川 公司

弁理士連合クラブ歴代役員

【昭和62年度】

幹事長 山川政樹
副幹事長 佐々木功 志賀正武 下田容一郎
幹事 天野 泉 伊藤 進 岡田英彦
菊池新一 絹谷信雄 佐藤孝雄
土橋 皓 中畑 孝 中山 清
原田信市 古谷 馨 米屋武志
監事 佐々木秋市 丹波宏之
顧問 当分の間置かない

選挙対策委員会

委員長 佐々木功

【平成元年度】

幹事長 古谷 馨
副幹事長 佐々木功 佐藤孝雄 原田信市
幹事 磯野道造 菊池新一 絹谷信雄
志賀正武 下田容一郎 武田賢市
土橋 皓 中山 清 丹波宏之
古谷史旺 山川政樹 米屋武志
安達房次郎 須田孝一郎

【昭和63年度】

幹事長 山川政樹
副幹事長 佐々木功 志賀正武 下田容一郎
幹事 天野 泉 伊藤 進 岡田英彦
菊池新一 絹谷信雄 佐藤孝雄
土橋 皓 中畑 孝 中山 清
原田信市 古谷 馨 米屋武志
監事 佐々木秋市 丹波宏之
顧問 当分の間置かない
総務委員会
委員長 山元俊仁

総務委員会

委員長 須山佐一
副委員長 吉田精孝
委員 大原拓也 恩田浩宣 大貫和保
小倉正明 高橋康夫 田辺敏郎
仁平 孝 渡邊喜平

政策委員会

委員長 磯野道造
副委員長 小田治親
委員 黒川弘朗 竹内 裕 秋山 修
守谷一雄 須山佐一 木下實三
三澤正義 羽村行弘

政策委員会

委員長 原田信市
副委員長 守谷一雄
委員 天野 泉 黒田博道 紺野正幸
竹内 裕 竹山宏明 戸村 隆
松田雅章 真田修治

企画委員会

委員長 紺野正幸
副委員長 森 哲也
委員 大貫和保 黒田博道 田辺敏郎
辻 実 中山伸治 松田雅章
村田幹雄 渡邊喜平

企画委員会

委員長 唐木浄治
副委員長 木村高久
委員 山崎輝緒 齋藤美晴 佐藤幸男
渡部敏彦 古谷史旺 大津洋夫
小林正治 今野耕哉

選挙対策委員会

委員長 丹羽宏之

【平成2年度】

幹事長 佐々木功
副幹事長 菊池新一 佐藤孝雄 下田容一郎
天野 泉 小池 晃 絹谷信雄
木下實三 紺野正幸 志賀正武
土橋 皓 中畑 孝 中山 清
原田信市 山川政樹 米屋武志
監 事 秋本正實 武田賢市

総務委員会

委員長 小林正治
副委員長 山崎輝緒
委員 加藤和詳 五十嵐和壽 木村高久
竹山宏明 齋藤美晴 本田 崇
仁平 孝 羽村行弘

政策委員会

委員長 下田容一郎
副委員長 坂口信昭
委員 秋元芳雄 飯田昭夫 積田輝正
中島 淳 原田信市 三澤正義
守谷一雄 山元俊仁

企画委員会

委員長 吉田精孝
副委員長 渡部敏彦
委員 唐木浄治 黒田博道 桑原 稔
永井義久 仁科勝史 松田雅章
本宮照久 渡邊一平

選挙対策委員会

委員長 絹谷信雄

【平成3年度】

幹事長 菊池新一
副幹事長 米屋武志 下田容一郎 佐藤孝雄
幹 事 天野 泉 磯野道造 絹谷信雄
志賀正武 武田賢市 土橋 皓
中島 淳 中山 清 原田信市
古谷史旺 山川政樹 山元俊仁
監 事 小田治親 佐々木功

総務委員会

委員長 吉田精孝
副委員長 木村高久

委 員 井上誠一 桑原 稔 坂本光雄
富田和子 羽村行弘 森正 澄
八 鍬 昇 渡部敏彦

政策委員会

委員長 中島 淳
副委員長 坂口信昭
委 員 五十嵐和壽 伊藤 進 大賀眞司
黒田博道 今野耕哉 竹内 裕
三澤正義 紺野正幸

企画委員会

委員長 黒川弘朗
副委員長 齋藤美晴
委 員 秋山 修 北村 仁 小林正治
竹山宏明 鳥羽 修 山口邦夫
吉田芳春 渡邊一平

選挙対策委員会

委員長 佐藤孝雄
副委員長 天野 泉
委 員 大塚明博 木下實三 下田容一郎
須山佐一 永井義久 中澤健二
中畑 孝 中山伸治

【平成4年度】

幹事長 原田信市
副幹事長 志賀正武 絹谷信雄 中島 淳
幹 事 伊藤 進 菊池新一 木下實三
佐藤孝雄 下田容一郎 須山佐一
田辺敏郎 戸村 隆 古谷史旺
山崎輝緒 山本彰司 米屋武志
監 事 磯野道造 紺野正幸

総務委員会(担当 中島)

委員長 黒川弘朗
副委員長 永井義久
委 員 大島陽一 小川利春 高橋康夫
平山一幸 小倉正明 坂本光雄
竹山宏明 山本義明

政策委員会(担当 志賀)

委員長 佐藤孝雄
副委員長 戸村 隆
委 員 内田和男 紺野正幸 齋藤美晴
守谷一雄 天野 泉 今野耕哉

坂口信昭 本田 崇

企画委員会(担当 絹谷)

委員長 吉田芳春
副委員長 関口俊三
委員 川久保新一 富田和子 牧野剛博
村上光司 井澤 洵 鈴木次郎
西浦嗣晴 米山淑幸

選挙対策委員会(担当 原田)

委員長 中島 淳
副委員長 竹内 裕
委員 仁平 孝 松山圭佑 山田明信
渡邊喜平 大塚明博 田辺敏郎
古谷史旺 米屋武志

【平成5年度】

幹事長 絹谷信雄
副幹事長 磯野道造 武田賢市 中島 淳
幹事 (桜門) 井澤 洵 田辺敏郎
森哲也 大橋 弘
山本彰司 小池 晃
(弁ク) 伊藤 進 木下實三
木村高久 佐藤孝雄
仁平 孝 山崎輝緒
監事 吉田精孝 中山 清

総務委員会(担当 磯野道造)

委員長 仁平 孝
副委員長 今野耕哉
委員 (桜門) 羽村行弘 大塚明博
土川 晃 坂本光雄
(弁ク) 川久保新一 富田和子
油井 透 村上光司

政策委員会(担当 中島 淳)

委員長 天野 泉
副委員長 渡邊喜平
委員 (桜門) 中山伸治 坂口信昭
黒川弘朗 川村恭子
(弁ク) 黒田博道 笹井浩毅
遠山 勉 西森浩司

企画委員会(担当 武田賢市)

委員長 木村高久
副委員長 秋山 修

委員 (桜門) 長内行雄 飯田昭夫
仁科勝史 吉田芳春
(弁ク) 佐藤孝雄 布施行夫
真田修治 石橋佳之夫

選挙対策委員会(担当 絹谷信雄)

委員長 唐木浄治
副委員長 守谷一雄
委員 (桜門) 恩田博宣 本田 崇
古谷史旺 森哲也
(弁ク) 三澤正義 内田和男
山田明信 石川泰男

【平成6年度】

幹事長 米屋武志
副幹事長 天野 泉 守谷一雄 木下實三
幹事 (弁ク) 木村高久 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
三澤正義 永井義久
(同友) 森 哲也 大橋 弘
黒川弘朗 小池 晃
吉田精孝 小林正治
監事 (弁ク) 小田治親
(同友) 山本彰司

総務委員会(担当 守谷一雄)

委員長 田中雅雄(同友)
副委員長 黒田博道(弁ク)
委員 (弁ク) 原田 寛 北村 仁
渡邊一平 井上 一
(同友) 今野耕哉 小倉正明
本田 崇 竹山宏明

政策委員会(担当 天野 泉)

委員長 木下實三(弁ク)
副委員長 古谷史旺(同友)
委員 (弁ク) 佐藤孝雄 紺野正幸
真田修治 齋藤美晴
(同友) 天野 泉 坂口信昭
大塚明博 吉田芳春

企画委員会(担当 木下實三)

委員長 秋山 修(同友)
副委員長 永井義久(弁ク)
委員 (弁ク) 渡部敏彦 川久保新一
布施行夫 関口宗昭

(同友) 米山叔幸 旦 武尚
羽村行弘 桑原 稔

選挙対策委員会(担当 天野 泉)

委員長 三澤正義(弁ク)
副委員長 中澤健二(同友)
委員 (弁ク) 村田幹夫 牛木 護
石川泰男 半田昌男
(同友) 積田輝正 中山伸治
本宮照久 飯田昭夫

連絡協議特別委員会(担当 米屋武志)

委員長 仁平 孝(弁ク)
副委員長 井澤 洵(同友)
委員 (弁ク) 中島 淳 黒田博道
(同友) 菊池新一 吉田精孝

【平成 7 年度】

幹事長 佐藤孝雄(弁ク)
副幹事長 小池 晃(同友)
古谷史旺(同友)
伊藤 進(弁ク)
幹事 (同友) 井澤 洵 田中雅雄
田辺敏郎 中山伸治
羽村行弘 吉田精孝
(弁ク) 須山佐一 中島 淳
永井義久 仁平 孝
三澤正義 守谷一雄
監事 (同友) 積田輝正
(弁ク) 土橋 皓

総務委員会(担当 小池 晃)

委員長 石川泰男(弁ク)
副委員長 小林 保(同友)
委員 (同友) 伊賀誠司 長内行雄
花村 太 山本義明
(弁ク) 井上誠一 黒田 壽
塩田辰也 西森浩司

政策委員会(担当 古谷史旺)

委員長 小倉正明(同友)
副委員長 齋藤美晴(弁ク)
委員 (同友) 田村榮一 仁科勝史
本田 崇 森 哲也
(弁ク) 川久保新一 中川裕幸
服部雅紀 松田雅章

企画委員会(担当 伊藤 進)

委員長 井上 一(弁ク)
副委員長 磯野道造(同友)
委員 (同友) 大貫和保 桑原 稔
中村盛夫 米山淑幸
(弁ク) 関口宗昭 佐藤年哉
保立浩一 山口邦夫

選挙対策委員会(担当 佐藤孝雄)

委員長 中澤健二(同友)
副委員長 守谷一雄(弁ク)
委員 (同友) 秋山 修 天野 泉
大塚明博 山田智重
(弁ク) 遠山 勉 木下實三
渡邊一平 渡邊喜平

【平成 8 年度】

幹事長 小池 晃(同友)
副幹事長 須山佐一(弁ク) (政策・弁ク担当)
三澤正義(弁ク) (総務・人事担当)
大橋 弘(同友) (企画・同友担当)
幹事 (弁ク) 下田容一郎 木村高久
伊藤 進 紺野正幸
木下實三 黒田博道
(同友) 恩田博宣 古谷史旺
坂口信昭 本田 崇
小林正治 田中雅雄
監事 山元俊仁(弁ク) 吉田精孝(同友)
相談役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 佐藤孝雄
(同友) 田中武文 原田信市
佐々木功 菊池新一
米屋武志

総務委員会(担当 三澤正義)

委員長 秋山 修(同友)
副委員長 真田修治(弁ク)
委員 (弁ク) 西森浩司 川久保新一
井上 一 保立浩一
(同友) 中里浩一 桑原 稔
神崎正浩 米山叔幸

政策委員会(担当 須山佐一)

委員長 伊藤 進(弁ク)

副委員長 仁科勝史(同友)
委員 (弁ク) 仁平 孝 北村 仁
青木輝男 遠山 勉
(同友) 森哲 也 小林 保
五十嵐和壽 羽村行弘

佐々木功 菊池新一
米屋武志 小池 晃

企画委員会(担当 大橋 弘)
委員長 坂本光雄(同友)
副委員長 井上誠一(弁ク)
委員 (弁ク) 紺野正幸 岡本啓三
開口宗昭 黒田 壽
(同友) 大貫和保 中村盛夫
中村和年 旦 武尚

総務委員会(担当 竹内 裕)
委員長 川久保新一(弁ク)
副委員長 米山淑幸(同友)
委員 (弁ク) 井上誠一 加藤和詳
黒田 壽 笹井浩毅
(同友) 秋山 修 桑原 稔
菊池 徹 中村信彦

研修委員会(担当 大橋 弘)
委員長 高月 猛(同友)
副委員長 井上 一(弁ク)
委員 (弁ク) 中川裕幸 伊藤嘉昭
(同友) 本田 崇 山田智重

政策委員会(担当 永井義久)
委員長 吉田精孝(同友)
副委員長 内田和男(弁ク)
委員 (弁ク) 紺野正幸 布施行夫
保立浩一 三品岩男
(同友) 大塚明博 仁科勝史
小倉正明 飯田昭夫

選挙対策委員会(担当 小池 晃)
委員長 木下實三(弁ク)
副委員長 中山伸治(同友)
委員 (弁ク) 土橋 皓 渡邊一平
黒田博道 山口邦夫
(同友) 黒川弘朗 八鍬 昇
小倉正明 伊賀誠司

企画委員会(担当 田辺敏郎)
委員長 西森浩司(弁ク)
副委員長 長内行雄(同友)
委員 (弁ク) 青木輝男 石橋佳之夫
世良和信 山口邦夫
(同友) 坂本光雄 旦 武尚
小川眞一 松下 満

【平成9年度】

幹事長 木下實三(弁ク)
副幹事長 竹内 裕(同友)
(総務・10周年(主)担当)
田辺敏郎(同友)
(企画・研修・10周年担当)
永井義久(弁ク)
(政策・選対・10周年担当)
幹事 (弁ク) 石川泰男 黒田博道
紺野正幸 須山佐一
中島 淳 三澤正義
(同友) 秋山 修 大塚明博
大貫和保 小倉正明
坂本光雄 中澤健二
監事 丹羽宏之(弁ク) 羽村行弘(同友)
相談役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 佐藤孝雄
(同友) 田中武文 原田信市

選挙対策委員会(担当 永井義久)
委員長 中山伸治(同友)
副委員長 伊藤 進(弁ク)
委員 (弁ク) 黒田博道 齋藤美晴
須山佐一 渡邊喜平
(同友) 吉田芳春 黒川弘朗
神崎正浩 藤井稔也

研修委員会(担当 田辺敏郎)
委員長 石川泰男(弁ク)
副委員長 中里浩一(同友)
委員 (弁ク) 井上 一 木村高明
塩田辰也 遠山 勉
(同友) 大塚明博 小林 保
西野茂美 大賀眞司

10周年記念事業実行委員会
(担当 竹内裕(主)、田辺敏郎、永井義久)
委員長 天野 泉(同友)
副委員長 (弁ク) 井上誠一 内田和男

須山佐一 遠山 勉
 油井 透
 (同友) 唐木浄治 積田輝正
 羽村行弘 吉田芳春
 委員 (弁ク) 青木輝男 伊藤 進
 大島陽一 木村高久
 黒田博道 黒田 壽
 齋藤美晴 笹井浩毅
 下田容一郎 中島 淳
 中山 清 服部雅紀
 布施行夫 三澤正義
 山口邦夫
 (同友) 井澤 洵 大橋 弘
 大塚明博 菊池 徹
 坂本光雄 坂口信昭
 丸山英一 田中雅雄
 旦武 尚 中澤健二
 古谷史旺 山本彰司
 山田智重 吉田精孝
 米山淑幸

総務委員会(担当：須山佐一)
 委員長 小倉正明(同友)
 副委員長 渡邊一平(弁ク)
 委員 (同友) 清水敬一 中村盛夫
 旦 武尚 伊賀誠司
 (弁ク) 山口邦夫 井上誠一
 下田 茂 内田和男

政策委員会(担当：吉田精孝)
 委員長 中島 淳(弁ク)
 副委員長 小林正治(同友) 笹井浩毅(弁ク)
 委員 (弁ク) 青木輝夫 山口邦夫
 黒田 壽 大橋邦彦
 布施行夫 保立浩一
 半田昌男 阪本清孝
 藤野清規 原田 寛
 (同友) 伊賀誠司 小倉正明
 恩田博宣 唐木浄治
 小池 晃 清水敬一
 旦 武尚 原田信市
 古谷史旺 米山淑幸

【平成10年度】

(監事兼任) (同友) 井澤 洵 中澤健二
 本田 崇 小川眞一
 五十嵐和壽
 (弁ク) 小田治親 伊藤 進
 仁平 孝 真田修治
 渡邊喜平 井上 一

幹事長 田辺敏郎(同友)
 副幹事長 吉田精孝(同友)
 (政策、役員協議担当)
 木村高久(弁ク)
 (企画、研修担当)
 須山佐一(弁ク)
 (総務、渉外関係担当)

企画委員会(担当：木村高久)
 委員長 大塚明博(同友)
 副委員長 小川利春(弁ク)
 委員 (同友) 長内行雄 小林 保
 坂本光雄 羽村行弘
 (弁ク) 石橋佳之夫 牧 哲郎
 渡部敏彦 西森浩司

幹事 (同友) 小林正治 井澤 洵
 中澤健二 本田 崇
 小川眞一 五十嵐和壽
 (弁ク) 小田治親 伊藤 進
 仁平 孝 真田修治
 渡邊喜平 井上 一

役員協議委員会(担当：吉田精孝)
 委員長 守谷一雄(弁ク)
 副委員長 羽村行弘(同友)
 委員 (弁ク) 三澤正義 小田治親
 岡本啓三 高橋康夫
 木下實三 真田修治
 (同友) 古谷史旺 唐木浄治
 大貫和保 仁科勝史
 中山伸治

監事 土橋 皓(弁ク) 大橋 弘(同友)

相談役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
 絹谷信雄 佐藤孝雄
 木下實三
 (同友) 田中武文 原田信市
 佐々木功 菊池新一
 米屋武志 小池 晃

研修委員会(担当：木村高久)
 委員長 大貫和保(同友)

副委員長 柿本恭成(弁ク)
委 員 (同友) 小川眞一 鈴木利明
丸山英一 中村信彦
(弁ク) 石川泰男 島田康男
古谷 聡 堤 卓

再選挙に関する特別委員会

委 員 長 木下實三(弁ク)
副委員長 守谷一雄(弁ク) 羽村行弘(同友)
委 員 (弁ク) 三澤正義 小田治親
岡本啓三 高橋康夫
真田修治
(同友) 古谷史旺 唐木浄治
大貫和保 仁科勝史
中山伸治

[平成11年度]

[幹事会]

幹 事 長 須山佐一(弁ク)
副幹事長 井澤 洵(同友)
(企画、研修担当)
小林正治(同友)
(政策、役員協議担当)
永井義久(弁ク)
(総務、渉外関係担当)

幹 事(政策委員兼任)

(同友) 大橋 弘 黒川弘朗
坂口信昭 森 哲也
羽村行弘 吉田芳春
(弁ク) 伊藤 進 小田治親
仁平 孝 渡邊喜平
川久保新一 内田和男

監 事 田中武文(同友) 土橋 皓(弁ク)

[相談役会]

相談役
(幹事長経験者)

山川政樹(弁ク) 古谷 馨(弁ク)
佐々木功(同友) 菊池新一(同友)
原田信市(同友) 絹谷信雄(弁ク)
米屋武志(同友) 佐藤孝雄(弁ク)
小池 晃(同友) 木下實三(弁ク)
田辺敏郎(同友)

(弁理士会会長経験者)

田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)
(弁理士会常議員会議長経験者)
山元俊仁(弁ク) 天野 泉(同友)

総務委員会(担当 永井義久)

委 員 長 井上 一(弁ク)
副委員長 菊池 徹(同友)
委 員 (弁ク) 青木輝男 井上誠一
尾関伸介 笹井浩毅
(同友) 羽切正治 中村信彦
山木義明 崔 秀喆

政策委員会(担当 小林正治)

委 員 長 小池 晃(同友)
{9月以降：古谷 史旺(同友)}
副委員長 大橋邦彦(弁ク)
中澤健二(同友)

委員(幹事兼任)

(同友) 新井 全 飯田昭夫
伊賀誠司 竹内 裕
松下 満 吉田精孝
(弁ク) 井上誠一 北村 仁
黒田 壽 三澤正義
山名正彦

企画委員会(担当 井澤 洵)

委 員 長 山口邦夫(弁ク)
副委員長 杉本良夫(同友)
委 員 (弁ク) 岡本啓三 亀谷美明
布施行夫 渡部敏彦
(同友) 本宮照久 神崎正浩
高尾裕之 青山 仁

役員協議委員会(担当 小林正治)

委 員 長 原田信市(同友)
副委員長 内田和男(弁ク)
天野 泉(同友)
委 員 (同友) 五十嵐和壽 小川眞一
竹内 裕 中山伸治
(弁ク) 川久保新一 木村高久
紺野正幸 仁平 孝
原田 寛 守谷一雄
山川政樹

調整委員会(担当 永井義久)

委 員 長 古谷史旺(同友)
副委員長 三澤正義(弁ク)

委員 (同友) 菊池新一 原田信市
森 哲也 山本彰司
(弁ク) 絹谷信雄 下田容一郎
中山 清 守谷一雄

研修委員会(担当 井澤 洵)

委員長 保立浩一(弁ク)
副委員長 五十嵐和壽(同友)
委員 (弁ク) 堤 卓 長岡 重幸
廣田浩一 油井 透
(同友) 山田智重 中里浩一
米山叔幸 藤井稔也

【平成12年度】

[幹事会]

幹事長 古谷史旺(同友)
副幹事長 仁平 孝(弁ク)
(政策、役員協議担当)
真田修治(弁ク)
(企画、研修担当)
坂口信昭(同友)
(総務、調整、渉外関係担当)

幹事 (弁ク) 内田和男 井上 一
中島 淳 渡邊一平
土橋 皓 永井義久
(同友) 大貫和保 大塚明博
本田 崇 小倉正明
羽村行弘 田中雅雄

監事 積田輝正(同友) 原田 寛(弁ク)

相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友)
菊池新一(同友) 原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク) 佐藤孝雄(弁ク)
小池 晃(同友) 木下實三(弁ク)
田辺敏郎(同友) 須山佐一(弁ク)

総務委員会

委員長 坂本光雄(同友)
副委員長 黒田 壽(弁ク)
委員 (弁ク) 山本晃司 伊藤嘉昭
尾川秀昭 石崎 剛
(同友) 大塚明博 山木義明
菊池 徹 崔 秀喆

政策委員会

委員長 木下實三(弁ク)
副委員長 本田 崇(同友)
世良和信(弁ク)
委員 (同友) 竹内 裕 中澤健二
秋山 修 小林正治
吉田芳春 小倉正明
松下 満 崔 秀喆
(弁ク) 伊藤 進 齋藤美晴
亀谷美明 川久保新一
保立浩一 布施行夫

役員協議委員会

委員長 下田容一郎(弁ク)
副委員長 小林正治(同友)
井上 一(弁ク)
委員 (同友) 原田信市 黒川弘朗
高野昌俊 西野茂美
本宮照久
(弁ク) 永井義久 紺野正幸
小田治親 青木輝夫
北村 仁

調整委員会

委員長 三澤正義(弁ク)
副委員長 山本彰司(同友)
委員 (弁ク) 絹谷信雄 木村高久
守谷一雄 須山佐一
(同友) 中山伸治 菊池新一
森 哲也 天野 泉

研修委員会

委員長 山田智重(同友)
副委員長 木村高久(弁ク)
委員 (弁ク) 堤 卓 高島敏郎
友野英三 坂本清孝
(同友) 中村信彦 青山 仁
高田大輔 高尾裕之

企画委員会

委員長 長内行雄(同友)
副委員長 柿本恭成(弁ク)
委員 (同友) 杉本良夫 伊賀誠司
丸山英一 山崎高明
(弁ク) 廣田浩一 佐藤年哉
富澤 孝 金坂憲幸

【平成13年度】

幹事長 中島 淳(弁ク)
副幹事長 本田 崇(同友)
(政策、研修担当)
山本彰司(同友)
(企画、役員協議担当)
伊藤 進(弁ク)
(総務、調整、渉外関係担当)

幹事 (弁ク) 中山 清 仁平 孝
笹井浩毅 内田和男
大橋邦彦 布施行夫
(同友) 唐木浄治 丸山英一
山崎高明 五十嵐和壽
森 哲也 中山伸治

監事 黒川弘朗(同友) 富田和子(弁ク)

相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友)
菊池新一(同友) 原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク) 米屋武志(同友)
佐藤孝雄(弁ク) 小池 晃(同友)
木下實三(弁ク) 田辺敏郎(同友)
須山佐一(弁ク) 古谷史旺(同友)

総務委員会
委員長 保立浩一(弁ク)
副委員長 中村盛夫(同友)
委員 (弁ク) 尾川秀昭 阪本清孝
廣田浩一 山本晃司
(同友) 中里浩一 松下 満
藤井稔也 山木義明

政策委員会
委員長 磯野道造(同友)
副委員長 齋藤美晴(弁ク) 羽村行弘(同友)
委員 (弁ク) 柿本邦夫 黒田勇治
仁平 孝 平山一幸
三谷 恵 三澤正義
山川茂樹
(同友) 五十嵐和壽 坂口信昭
竹内 裕 田辺敏郎
中澤健二 森 哲也

役員協議委員会

委員長 吉田精孝(同友)
副委員長 守谷一雄(弁ク) 吉田芳春(同友)
委員 (弁ク) 小田治親 柿本恭成
北村 仁 木下實三
紺野正幸
(同友) 内藤嘉昭 佐々木功
古谷史旺 仁科勝史
長内行雄

調整委員会

委員長 中澤健二(同友)
副委員長 木村高久(弁ク)
委員 (弁ク) 須山佐一 真田修治
永井義久 渡邊一平
(同友) 天野 泉 小林正治
中畑 孝 志賀正武

研修委員会

委員長 山川茂樹(弁ク)
副委員長 菊池 徹(同友)
委員 (弁ク) 石川泰男 堀 城之
富澤 孝 木村高明
(同友) 山田智重 杉本良夫
旦 武尚 青山 仁

企画委員会

委員長 黒田 壽(弁ク)
副委員長 川俣静子(同友)
委員 (弁ク) 金坂憲幸 佐藤年哉
友野英三 岡本啓三
(同友) 高野昌俊 竹山宏明
崔 秀喆 谷口 登

【平成14年度】

幹事長 小林正治(同友)
副幹事長 森 哲也(同友)
(総務、調整、渉外関係担当)
内田和男(弁ク)
(企画、研修担当)
川久保新一(弁ク)
(政策、役員協議担当)

幹事 (弁ク) 山川政樹 牧 哲郎
青木輝夫 布施行夫

亀谷美明 保立浩一
(同友) 中山伸治 唐木浄治
清水敬一 山本義明
白崎真二 宮坂 徹

仁平 孝 柿本恭成
黒田 壽
(同友) 原田信市 黒川弘朗
山本彰司 古谷史旺
内藤嘉昭

監 事 中山 清(弁ク)仁科勝史(同友)

相 談 役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)
菊池新一(同友)原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)
佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友)
木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友)
須山佐一(弁ク)古谷史旺(同友)
中島 淳(弁ク)

総務委員会

委 員 長 五十嵐和壽(同友)
副委員長 中川裕幸(弁ク)
委 員 (弁ク) 柿本邦夫 山本晃司
廣田浩一 佐原雅史
(同友) 中村盛夫 松田克治
秋元芳雄 長内行雄

企画委員会

委 員 長 川俣静子(同友)
副委員長 山口義雄(弁ク)
委 員 (弁ク) 大淵美千栄 坂本清孝
金坂憲幸 金井英幸
(同友) 竹山宏明 崔 秀喆
広瀬 一 谷口 登

政策委員会

委 員 長 永井義久(弁ク)
副委員長 坂口信昭(同友)
委 員 (弁ク) 伊藤 進 木下實三
齋藤美晴 井上 一
山川茂樹 友野英三
(同友) 田辺敏郎 中澤健二
本田 崇 大塚明博
高野昌俊 小倉正明

役員協議委員会

委 員 長 伊藤 進(弁ク)
副委員長 中村盛夫(同友)
委 員 (弁ク) 下田容一郎 紺野正幸

研修委員会

委 員 長 長内行雄(同友)
副委員長 世良和信(弁ク)
委 員 (弁ク) 鈴木 知 山本 尚
美濃好美 塩野谷英城
(同友) 五十嵐和壽 伊賀誠司
丸山英一 杉本良夫

調整委員会

委 員 長 須山佐一(弁ク)
副委員長 磯野道造(同友)
委 員 (弁ク) 中山 清 絹谷信雄
木村高久 中島 淳
(同友) 佐々木功 中村政美
積田輝正 大貫和保

【平成15年度】

幹 事 長 伊藤 進(弁ク)
副幹事長 中澤健二(同友)
(政策、調整担当)
飯田昭夫(同友)
(企画、研修担当)
渡邊一平(弁ク)
(総務、役員協議、渉外担当)

幹 事 (同友) 中山伸治 大塚明博
中村盛夫 伊賀誠司
旦 武尚 高尾裕之
(弁ク) 牧 哲郎 山崎輝緒
真田修治 北村 仁
井上誠一 阪本清孝

監 事 松田克治(同友)木村高久(弁ク)

相 談 役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)
菊池新一(同友)原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)
佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友)

木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友)
須山佐一(弁ク)中島 淳(弁ク)
小林正治(同友)

総務委員会

委員長 齋藤美晴(弁ク)
副委員長 松下 満(同友)
委員 (同友) 神崎正浩 花村 太
粕川敏夫 井澤 幹
(弁ク) 鈴木 知 中川裕幸
柿本邦夫 石崎 剛

企画委員会

委員長 本宮照久(同友)
副委員長 水野 清(弁ク)
委員 (同友) 長内行雄 新井 全
小島 猛 西 和哉
(弁ク) 内田和男 小川利春
金坂憲幸 美濃好美

政策委員会

委員長 吉田芳春(同友)
副委員長 永井義久(弁ク)
委員 (同友) 磯野道造 小池 晃
坂口信昭 原田信市
竹内 裕 本田 崇
且 武尚 青山 仁
(弁ク) 大橋邦彦 中島 淳
三澤正義 井上 一
保立浩一 服部雅紀
今井孝弘

役員協議委員会

委員長 永井義久(弁ク)
副委員長 杉本良夫(同友)
黒田 壽(弁ク)
委員 (同友) 天野 泉 大塚明博
中村盛夫 松原 等
(弁ク) 仁平 孝 川久保新一
布施行夫 山川茂樹
山本晃司

研修委員会

委員長 塩野谷英城(弁ク)
副委員長 大賀眞司(同友)
委員 (同友) 林 信之 高野昌俊
石川 憲 中原文彦

(弁ク) 鈴木健治 佐原雅史
西康二郎 田中ひろみ

調整委員会

委員長 天野 泉(同友)
副委員長 中山 清(弁ク)
委員 (同友) 吉田精孝 本田 崇
山本彰司 磯野道造
(弁ク) 絹谷信雄 土橋 皓
紺野正幸 小田治親

【平成16年度】

幹事長 磯野道造(同友)
副幹事長 須山佐一(弁ク)
(研修、企画担当)
永井義久(弁ク)
(政策、調整担当)
五十嵐和壽(同友)
(総務、役員協議、渉外担当)

幹事 (弁ク) 保立浩一 山川茂樹
内田和男 中川裕幸
小川利春 笹井浩毅
(同友) 竹内 裕 清水 修
大貫和保 神崎正浩
伊賀誠司 石川 憲

監事 小田治親(弁ク)大塚明博(同友)

相談役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)
菊池新一(同友)原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)
佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友)
木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友)
須山佐一(弁ク)中島 淳(弁ク)
小林正治(同友)伊藤 進(弁ク)

総務委員会

委員長 米山淑幸(同友)
副委員長 山川茂樹(会計担当)(弁ク)
委員 (弁ク) 井上誠一 美濃好美
茅野直勝 三谷 恵
(同友) 花村 太 粕川敏夫
神崎正浩 小島 猛

企画委員会

委員長 金坂憲幸(弁ク)
 副委員長 新井 全(同友)
 委員 (弁ク) 阪本清孝 北村 仁
 阿仁屋節雄 柿本邦夫
 (同友) 松下 満 西 和哉
 且 武尚 佐藤 陽

政策委員会

委員長 三澤正義(弁ク)
 副委員長 飯田昭夫(同友)
 委員 (弁ク) 亀谷美明 布施行夫
 保立浩一 山川茂樹
 伊藤 進 渡邊一平
 (同友) 長内行雄 坂口信昭
 中澤健二 坂本光雄
 中村盛夫 成瀬重雄

役員協議委員会

委員長 中村盛夫(同友)
 副委員長 土橋 皓(弁ク)
 委員 (弁ク) 保立浩一 石川泰男
 平山一幸 笹井浩毅
 渡邊一平
 (同友) 中里浩一 仁科勝史
 杉本良夫 宮坂 徹

研修委員会

委員長 林 信之(同友)
 副委員長 中川裕幸(弁ク)
 委員 (弁ク) 鈴木 知 永岡重幸
 鈴木 敦 岡田希子
 (同友) 中村信彦 山田智重
 大賀真司 井澤 幹

調整委員会

委員長 伊藤 進(弁ク)
 副委員長 本田 崇(同友)
 委員 (弁ク) 紺野正幸 中山 清
 絹谷信雄 山川政樹
 (同友) 小池 晃 吉田精孝
 中山伸治 大橋 弘

【平成17年度】

幹事長 永井義久(弁ク)
 副幹事長 吉田芳春(同友)
 (研修、政策、
 役員協議(後期)担当)
 小川真一(同友)
 (企画、
 役員協議(前期)担当)
 笹井浩毅(弁ク)
 (総務、調整担当)

幹事 (同友) 新井 全 伊賀誠司
 長内行雄 坂口信昭
 坂本光雄 中村盛夫
 (弁ク) 鈴木 知 堤 卓
 中川裕幸 中山 清
 布施行夫 山本晃司

監事 大塚明博(同友) 小田治親(弁ク)

相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)
 古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友)
 菊池新一(同友) 原田信市(同友)
 絹谷信雄(弁ク) 米屋武志(同友)
 小池 晃(同友) 木下實三(弁ク)
 田辺敏郎(同友) 須山佐一(弁ク)
 中島 淳(弁ク) 小林正治(同友)
 伊藤 進(弁ク) 磯野道造(同友)

総務委員会

委員長 金坂憲幸(弁ク)
 副委員長 山崎高明(同友)
 委員 (同友) 松下 満 杉本良夫
 宮坂 徹 山田武史
 安彦 元 関 昌充
 (弁ク) 井上誠一 柿本邦夫
 廣田浩一 三谷 恵

企画委員会

委員長 高尾裕之(同友)
 副委員長 山口義男(弁ク)
 委員 (弁ク) 阿仁屋節雄 井上誠一
 (同友) 新井 全 杉本良夫
 吉村俊一

政策委員会

委員長 川久保新一(弁ク)
副委員長 坂本光雄(同友)
委員 (同友) 坂口信昭 中村盛夫
成瀬重雄
(弁ク) 木下實三 中島 淳
井上 一 黒田 壽
山川茂樹 田中ひろみ

(研修、企画担当)

幹 事 (弁ク) 服部雅紀 金坂憲幸
川久保新一 小川利春
永岡重幸 美濃好美
(同友) 磯野道造 坂口信昭
小林正治 五十嵐和壽
小林 保 杉本良夫

役員協議委員会

委員長 長内行雄(同友)
副委員長 紺野正幸(弁ク)
副委員長 菊池 徹(同友)
委員 (弁ク) 水野 清 服部雅紀
山川茂樹 山本晃司
(同友) 中澤健二 仁科勝史
伊賀誠司 崔 秀喆
小島 猛

監 事 真田修治(弁ク)大貫和保(同友)

相 談 役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)
菊池新一(同友)原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)
小池 晃(同友)木下實三(弁ク)
田辺敏郎(同友)須山佐一(弁ク)
中島 淳(弁ク)小林正治(同友)
伊藤 進(弁ク)磯野道造(同友)
永井義久(弁ク)

研修委員会

委員長 小川利春(弁ク)
副委員長 林 信之(同友)
委員 (同友) 青山 仁
(弁ク) 北村 仁 永岡重幸
鈴木 敦

総務委員会

委員長 山崎高明(同友)
副委員長 美濃好美(弁ク)
委員 (弁ク) 今井孝弘 柿本邦夫
(同友) 山田武史 宮坂 徹
松下 満 杉本良夫
安彦 元 関 昌充

能力担保専門委員

(同友) 山本彰司 五十嵐和壽
本宮照久 中村信彦
(弁ク) 原田 寛 尾川秀昭
服部雅紀 河部秀男
赤羽良之

役員協議委員会

委員長 須山佐一(弁ク)
副委員長 磯野道造(同友)紺野正幸(弁ク)
委員 (同友) 井澤 幹 菊池 徹
小島 猛 藤浪一郎
堂本 環 古川友美
丸山英一
(弁ク) 小川利春 金坂憲幸
塩野谷英城 布施行夫
山口義雄 山本晃司

調整委員会

委員長 本田 崇(同友)
副委員長 渡邊一平(弁ク)
委員 (弁ク) 下田容一郎 川久保新一
(同友) 吉田精孝 丸山英一

【平成18年度】

幹 事 長 吉田芳春(同友)
副幹事長 三澤正義(弁ク)
(役員協議、政策担当)
長内行雄(同友)
(総務、調整担当)
井上誠一(弁ク)

研修委員会

委員長 成瀬重雄(同友)
副委員長 布施行夫(弁ク)
委員 (弁ク) 小川利春 長谷川靖
三谷 恵
(同友) 林 信之 中村信彦

山田 武史

企画委員会
委員長 永岡重幸(弁ク)
副委員長 粕川敏夫(同友)
(同友) 松下 満 花村 太
中原文彦
(弁ク) 柿本邦夫 阿仁屋節雄
山口義雄

政策委員会
委員長 崔 秀喆(同友)
副委員長 廣瀬隆行(弁ク)
委員 (弁ク) 保立浩一 笹井浩毅
鈴木喜三郎 田中ひろみ
井上 一 今井孝弘
岡田希子 奥田 誠
金坂憲幸 上條由紀子
茅野直勝 川久保新一
木下實三 小林 浩
佐成重範 永井義久
永岡重幸 服部雅紀
美濃好美 山本晃司
中島 淳 山川茂樹
(同友) 丸山英一 小林 保
小林正治 坂本光雄
本宮照久 菊池 徹
杉本良夫 坂口信昭

調整委員会
委員長 永井義久(弁ク)
副委員長 山本彰司(同友)
委員 (同友) 吉田精孝 丸山英一
(弁ク) 下田容一郎 川久保新一

幹 事 (同友) 坂口信昭 五十嵐和壽
坂本光雄 伊賀誠司
杉本良夫 中原文彦
(弁ク) 小川利春 井上誠一
塩野谷英城 永岡重幸
服部雅紀 三澤正義

監 事 真田修治(弁ク) 大貫和保(同友)

相 談 役 (同友) 田中武文 佐々木功
菊池新一 原田信市
米屋武志 小池 晃
田辺敏郎 小林正治
磯野道造 吉田芳春
(弁ク) 伊藤 進 木下實三
絹谷信雄 須山佐一
永井義久 中島 淳
古谷 馨 山川政樹

総務委員会
委員長 中川裕幸(弁ク)
副委員長 中原文彦(同友)
委員 (同友) 旦 武尚 花村 太
小島 猛
(弁ク) 奥川勝利 茅野直勝

政策委員会
委員長 山本晃司(弁ク)
副委員長 本宮照久(同友)
委員 (同友) 坂本光雄 田中雅雄
崔 秀喆 山田武史
石川 憲
(弁ク) 保立浩一 廣瀬隆行
奥 和幸 住吉勝彦
田中ひろみ

【平成19年度】

幹 事 長 川久保新一(弁ク)
副幹事長 天野 泉(同友)
(20周年記念事業担当)
井上 一(弁ク)
(総務、政策、調整担当)
丸山英一(同友)
(企画、役員協議、
研修担当)

役員協議委員会
委員長 小川眞一(同友)
副委員長 亀谷美明(弁ク)
委員 (弁ク) 平山一幸 布施行夫
柿本邦夫
(同友) 伊賀誠司 粕川敏夫
高尾裕之

調整委員会
委員長 渡邊一平(弁ク)

副委員長 山本彰司(同友)
委 員 選任なし

中原文彦 萼 経夫
松下 満 山木義明

研修委員会
委員長 米山淑幸(同友)
副委員長 今井孝弘(弁ク)
委 員 (弁ク) 絹谷晴久 須山英明
長谷川靖
(同友) 中村信彦 三島広規
小島 猛

監 事 真田修治(弁ク) 坂口信昭(同友)

相談役 (弁ク) 伊藤 進 川久保新一
木下實三 絹谷信雄
須山佐一 永井義久
中島 淳 古谷 馨
山川政樹
(同友) 磯野道造 菊池新一
小池 晃 小林正治
佐々木功 田中武文
田辺敏郎 原田信市
吉田芳春 米屋武志

企画委員会
委員長 菊池 徹(同友)
副委員長 山本寿武(弁ク)
委 員 (弁ク) 阿仁屋節雄 奥田 誠
鈴木喜三郎 山口義雄
(同友) 青山 仁 高尾裕之
本宮照久

総務委員会
委員長 中原文彦(同友)
副委員長 住吉勝彦(弁ク)
委 員 (弁ク) 鈴木 知 柿本邦夫
小國泰弘
(同友) 菊池 徹 宮坂 徹
山田武史

20周年記念事業実行委員会
委員長 永井義久(弁ク)
副委員長 伊賀誠司(同友)
部会長 〈式典〉黒田 壽(弁ク)
部会長 〈祝賀会〉小川眞一(同友)
委 員 (同友) 伊賀誠司 新井 全
中村盛夫 崔 秀喆
粉川敏夫 杉本良夫
(弁ク) 茅野直勝 原田 寛
山口邦夫 中川裕幸
伊藤信和 柿本邦夫
鈴木 知

政策委員会
委員長 住吉勝彦(弁ク)
副委員長 本田 淳(同友)
委 員 (同友) 森 哲也 天野 泉
竹内 裕 小池 晃
古谷史旺 吉田芳春
丸山英一 山田武史
長内行雄 笹川 拓
関 昌充 笹野拓馬
(弁ク) 世良和信 川久保新一
井上 一 金坂憲幸
山本寿武 奥田 誠
伊藤信和 今井孝弘
上條由紀子 奥 和幸
恒川圭志 及川 周
國井久美子 森岡嗣象
高橋史保

【平成20年度】

幹事長 小川眞一(同友)
副幹事長 亀谷美明(弁ク)
(政策、役員協議担当)
中川裕幸(弁ク)
(研修、企画担当)
伊賀誠司(同友)
(総務、調整担当)

幹 事 (弁ク) 金坂憲幸 塩野谷英城
鈴木 知 永井義久
永岡重幸 三澤正義
(同友) 新井 全 坂本光雄

企画委員会
委員長 長内行雄(同友)
副委員長 瀧澤匡則(弁ク)
委 員 (弁ク) 加藤和孝 村井弘実

(同友) 菊池 徹 谷山尚史
井澤 幹

木下實三 絹谷信雄
須山佐一 永井義久
中島 淳 古谷 馨
山川政樹

研修委員会

委員長 奥 和幸(弁ク)
副委員長 大塚明博(同友)
委員 (弁ク) 今井孝弘 加藤政之
石戸孝則

総務委員会

委員長 永岡重幸(弁ク)
副委員長 吉村俊一(同友)
委員 (同友) 青山 仁 笹川 拓
関 昌充
(弁ク) 山川茂樹 柿本邦夫
奥 和幸

調整委員会

委員長 山本彰司(同友)
副委員長 三澤正義(弁ク)
委員 (弁ク) 下田容一郎 伊藤 進
(同友) 古谷史旺 丸山英一

政策委員会

委員長 森 哲也(同友)
副委員長 山本晃司(弁ク)
委員 (弁ク) 伊藤 進 井上誠一
及川 周 奥 和幸
川久保新一 川守田光紀
國井久美子 住吉勝彦
世良和信 永井義久
永岡重幸 山川茂樹
梶 俊和
(同友) 天野 泉 小川眞一
小池 晃 笹川 拓
笹野拓馬 関 昌充
竹内 裕 恒川圭志
古谷史旺 本田 淳
丸山英一 山崎高明
山田武史 吉田芳春

役員協議委員会

委員長 保立浩一(弁ク)
副委員長 吉田芳春(同友)

役員協議委員会

委員長 吉田芳春(同友)
副委員長 保立浩一(弁ク)

【平成21年度】

幹事長 渡邊一平(弁ク)
副幹事長 本宮照久(同友)
(企画、研修担当)
山崎高明(同友)
(政策、役員協議担当)
黒田 壽(弁ク)
(総務、調整担当)

調整委員会

委員長 三澤正義(弁ク)
副委員長 山本彰司(同友)
委員 (同友) 天野 泉 古谷史旺
(弁ク) 伊藤 進 下田容一郎

幹事 (同友) 新井 全 坂本光雄
松下 満 山木義明
菊池 徹 大塚明博
(弁ク) 小川利春 井上誠一
塩野谷英城 今井孝弘
山川茂樹 山口義雄

監事 坂口信昭(同友)
真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 田中武文 佐々木功
菊池新一 原田信市
米屋武志 小池 晃
田辺敏郎 古谷史旺
小林正治 磯野道造
吉田芳春 小川眞一
(弁ク) 伊藤 進 川久保新一

研修委員会

委員長 中原文彦(同友)
副委員長 鈴木 敦(弁ク)
委員 (弁ク) 住吉勝彦
(同友) 山田武史

企画委員会
 委員長 梶 俊和(弁ク)
 副委員長 中原文彦(同友)
 委員 (同友) 井澤 幹 本田 淳
 (弁ク) 山口義雄 瀧澤匡則

(弁ク) 伊藤 進 内田和男
 永井義久 川久保新一
 井上誠一 永岡重幸
 奥 和幸 住吉勝彦
 梶 俊和

【平成22年度】

幹事長 亀谷美明(弁ク)
 副幹事長 田中雅雄(同友)
 山川茂樹(弁ク)
 吉村俊一(同友)
 幹事 (同友) 大塚明博 坂本光雄
 山木義明 松下 満
 新井 全 菊池 徹
 (弁ク) 小川利春 岡本啓三
 井上誠一 山本晃司
 永岡重幸 今井孝弘

監事 坂口信昭(同友) 齋藤美晴(弁ク)
 相談役 (同友) 原田信市 佐々木功
 磯野道造 菊池新一
 小池 晃 田辺敏郎
 古谷史旺 小林正治
 吉田芳春 小川眞一
 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
 絹谷信雄 伊藤 進
 須山佐一 中島 淳
 木下實三 永井義久
 川久保新一 渡邊一平

総務委員会
 委員長 住吉勝彦(弁ク)
 副委員長 本田 淳(同友)
 委員 松本一騎(弁ク)
 長野みか(弁ク)

政策委員会
 委員長 山本晃司(弁ク)
 副委員長 藤井稔也(同友)
 (同友) 天野 泉 竹内 裕
 小池 晃 古谷史旺
 吉田芳春 丸山英一
 山田武史 本田 淳

役員協議委員会

委員長 丸山英一(同友) (4/1～)
 副委員長 鈴木 知(弁ク)
 委員 (弁ク) 小國泰弘 絹谷晴久
 潮 太郎
 (同友) 中村盛夫 坂本光雄
 藤井稔也 林 信之
 笹川 拓 本田 淳

調整委員会

委員長 田辺敏郎(同友)
 副委員長 伊藤 進(弁ク)
 委員 山本彰司(同友)

研修委員会

委員長 今井孝弘(弁ク)
 副委員長 山田武史(同友)
 委員 中原文彦(同友)

企画委員会

委員長 佐尾山和彦(同友)
 副委員長 伊藤信和(弁ク)
 委員 (弁ク) 山本寿武 奥 和幸
 (同友) 菊池 徹 古川友美

【平成23年度】

選任なし

【平成24年度】

幹事長 古谷史旺(同友)
 副幹事長 中川裕幸(弁ク)
 山川茂樹(弁ク)
 小川眞一(同友)

幹事 (弁ク) 柿本邦夫 塩野谷英城
 絹谷晴久 木戸基文
 (同友) 大塚明博 坂本光雄
 山木義明 松下 満

新井 全 菊池 徹

吉田芳春 小川眞一

監 事 齋藤美晴(弁ク) 坂口信昭(同友)

相談役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一
(同友) 原田信市 佐々木功
磯野道造 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一

総務委員会

委員 長 中原文彦(同友)
副委員 長 小國泰弘(弁ク)

その他の委員会については、立ち上げず

【平成25年度】

幹 事 長 丸山英一(同友)
副幹事長 中川裕幸(弁ク)
山本晃司(弁ク)
吉村俊一(同友)

幹 事 (弁ク) 木下實三 井上誠一
岸本達人 永岡重幸
滝澤匡則 野崎俊剛
(同友) 田中雅雄 山崎高明
山田武史 中原文彦
安彦 元 井澤 幹

監 事 坂口信昭(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一
(同友) 原田信市 佐々木功
磯野道造 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治

総務委員会

委員 長 安彦 元(同友)
副委員 長 滝澤匡則(弁ク)

政策委員会

委員 長 永岡重幸(弁ク)
副委員 長 山崎高明(同友)

役員協議委員会

委員 長 井澤 幹(同友)
副委員 長 井上誠一(弁ク)

調整委員会

委員 長 木下實三(弁ク)
副委員 長 田中雅雄(同友)

研修委員会

委員 長 野崎俊剛(弁ク)
副委員 長 山田武史(同友)

企画委員会

委員 長 中原文彦(同友)
副委員 長 岸本達人(弁ク)

【平成26年度】

幹 事 長 山川茂樹(弁ク)
副幹事長 青山 仁(同友)
(企画委員会、研修委員会)
井澤 幹(同友)
(役員協議委員会、調整委員会)
鈴木 知(弁ク)
(総務委員会、政策委員会)

幹 事 (同友) 丸山英一 山崎高明
笹川 拓 茜ヶ久保公二
岩田克子 本田 淳
(弁ク) 世良和信 渡邊一平
岸本達人 小國泰弘
梶 俊和 絹谷晴久

監 事 坂口信昭(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 佐々木功

磯野道造 菊池新一
 小池 晃 田辺敏郎
 古谷史旺 小林正治
 吉田芳春 小川眞一
 丸山英一
 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
 絹谷信雄 伊藤 進
 須山佐一 中島 淳
 木下實三 永井義久
 川久保新一 渡邊一平

総務委員会

委員 長 塩野谷英城(弁ク)
 副委員 長 本田 淳(同友)
 委 員 (同友) 笹野拓馬 石井理太
 (弁ク) 柿本邦夫 飛田高介

政策委員会

委員 長 山崎高明(同友)
 副委員 長 瀧澤匡則(弁ク)
 委 員 (弁ク) 伊藤 進 永井義久
 渡邊一平 岸本達人
 岡田希子 永岡重幸
 小國泰弘 今堀克彦
 須山英明 奥川勝利
 内野則彰 岩田耕一
 富澤 正 野崎俊剛
 (同友) 竹内 裕 仁科勝史
 吉田芳春 長内行雄
 伊賀誠司 丸山英一
 山田武史 笹川 拓
 恒川圭志 石川 憲
 井澤 幹 笹野拓馬
 茂木康彦 大和田昭彦

企画委員会

委員 長 小田原敬一(弁ク)
 副委員 長 岩田克子(同友)
 委 員 (同友) 仲村圭代 駒場大視
 (弁ク) 奥川勝利 潮 太朗

役員協議委員会

委員 長 永岡重幸(弁ク)
 副委員 長 茜ヶ久保公二(同友)
 委 員 (同友) 田辺 恵 藤浪一郎
 徳増あゆみ 飯野智史

須田守一
 (弁ク) 船津暢宏 小國泰弘
 美川公司 梶 俊和

調整委員会

委員 長 丸山英一(同友)
 副委員 長 伊藤 進(弁ク)
 委 員 (弁ク) 船津暢宏 山本晃司
 (同友) 田中雅雄 粕川敏夫

研修委員会

委員 長 笹川 拓(同友)
 副委員 長 三輪浩誉(弁ク)
 委 員 (弁ク) 松本一騎
 (同友) 山田武史

【平成 27 年度】

幹 事 長 山本晃司(弁ク)
 副幹事 長 永岡重幸(弁ク)
 (企画委員会、研修委員会)
 森 俊秀(同友)
 (総務委員会、政策委員会)
 石川 憲(同友)
 (役員協議委員会、調整委員会)

幹 事 (同友) 小川眞一 山田武史
 吉村俊一 安彦 元
 本田 淳 大橋剛之
 (弁ク) 世良和信 渡邊一平
 岸本達人 小國泰弘
 梶 俊和 絹谷晴久

監 事 真田修治(弁ク) 坂本光雄(同友)

相 談 役 (同友) 原田信市 佐々木功
 磯野道造 菊池新一
 小池 晃 田辺敏郎
 古谷史旺 小林正治
 吉田芳春 小川眞一
 丸山英一
 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
 絹谷信雄 伊藤 進
 須山佐一 中島 淳
 木下實三 永井義久
 川久保新一 渡邊一平

委員会
総務委員会

委員長 大橋剛之(同友)
副委員長 飛田高介(弁ク)
委員 (同友) 茂木康彦 陸名智之
(弁ク) 柿本邦夫 佐々木まどか

政策委員会

委員長 三輪浩誉(弁ク)
副委員長 本田 淳(同友)
委員 (同友) 坂口信昭 飯田昭夫
中村盛夫 伊賀誠司
関 昌充 井澤 幹
(弁ク) 伊藤 進 濱田百合子
松本一騎 熊井 寛
野崎俊剛 美川公司

企画委員会

委員長 安彦 元(同友)
副委員長 奥 和幸(弁ク)
委員 (同友) 徳増あゆみ 駒場大視
(弁ク) 柿本邦夫 永井 望

役員協議委員会

委員長 吉村俊一(同友)
副委員長 梶 俊和(弁ク)
委員 丸山英一(同友)

調整委員会

委員長 伊藤 進(弁ク)
副委員長 小川眞一(同友)
委員 (同友) 田辺敏郎
(弁ク) 船津暢宏 黒田 壽
瀧澤匡則

研修委員会

委員長 野崎俊剛(弁ク)
副委員長 山田武史(同友)
委員 (同友) 笹川 拓
(弁ク) 下田憲雅

幹事長 石川 憲(同友)

副幹事長 船津暢宏(弁ク)
(役員協議、調整)
梶 俊和(弁ク)
(政策、企画、研修)
笹野拓馬(同友)
(総務、30周年準備)

幹事 (同友) 小林 保 長内行雄
小川眞一 山田武史
本田 淳 徳増あゆみ
(弁ク) 永井義久 中川裕幸
山本晃司 岸本達人
須山英明 瀧澤匡則

監事 中村盛夫(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 佐々木功
磯野道造 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平
山川茂樹 山本晃司

委員会

総務委員会
委員長 中川裕幸(弁ク)
副委員長 笹川 拓(同友)
委員 (同友) 松本直子
(弁ク) 佐々木まどか 高橋 堅

政策委員会

委員長 小林 保(同友)
副委員長 小田原敬一(弁ク)
委員 (同友) 古谷史旺 関 昌充
井澤 幹 田辺 恵
高下雅弘

(弁ク) 伊藤 進 山本晃司
岡田希子 永岡重幸
小國泰弘 今堀克彦
須山英明 奥川勝利
岩田耕一 富澤 正

幹 事 (同友) 小林 保 小川眞一
丸山英一 吉村俊一
石川 憲 松本直子
(弁ク) 永井義久 船津暢宏
中川裕幸 岸本達人
瀧津匡則 熊井 寛

企画委員会

委員 長 須山英明(弁ク)
副委員 長 吉田倫太郎(同友)
委 員 (同友) 本田 淳 川崎ひかり
(弁ク) 小國泰弘 下田憲雅

監 事 長内行雄(同友) 真田修治(弁ク)

相 談 役 (同友) 原田信市 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一 石川 憲
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平
山川茂樹 山本晃司

役員協議委員会

委員 長 山川茂樹(弁ク)
副委員 長 井澤 幹(同友)
委 員 (同友) 安彦 元 山下幸彦
(弁ク) 小國泰弘 絹谷晴久

委員会

総務委員会

委員 長 小野友彰(同友)
副委員 長 今堀克彦(弁ク)
委 員 (同友) 笹野拓馬
(弁ク) 須山英明 三苦貴織

調整委員会

委員 長 長内行雄(同友)
副委員 長 山川茂樹(弁ク)
委 員 (同友) 小川眞一 吉村俊一
(弁ク) 岸本達人 瀧澤匡則

政策委員会

委員 長 船津暢宏(弁ク)
副委員 長 古谷史旺(同友)
委 員 (同友) 坂口信昭 伊賀誠司
関 昌充 田辺 恵
茂木康彦 松本直子
(弁ク) 伊藤 進 中島 淳
永井義久 山本晃司
永岡重幸 今堀克彦
三輪浩誉 須山英明
奥川勝利 小田原敬一
富澤 正

研修委員会

委員 長 山田武史(同友)
副委員 長 飛田高介(弁ク)
委 員 (同友) 横田香澄
(弁ク) 柿本邦夫

30周年記念事業準備委員会

委員 長 粕川敏夫(同友)
副委員 長 永井義久(弁ク)
委 員 (同友) 古谷史旺
(弁ク) 永岡重幸

【平成 29 年度】

幹 事 長 粕川敏夫(同友)

副幹事長 塩野谷英城(弁ク)

(政策、役員協議、調整)

絹谷晴久(弁ク)

(企画、研修)

笹川 拓(同友)

(総務、30周年記念事業)

企画委員会

委員 長 笹野拓馬(同友)
副委員 長 熊井 寛(弁ク)
委 員 (同友) 山下幸彦 川崎ひかり
(弁ク) 権正英樹 瀧澤匡則

役員協議委員会

委員長 石川 憲(同友)
副委員長 岸本達人(弁ク)
委員 (同友) 藤井稔也 藤浪一郎
(弁ク) 大淵美千栄 小林 功

調整委員会

委員長 中川裕幸(弁ク)
副委員長 丸山英一(同友)
委員 (同友) 小川眞一 高下雅弘
(弁ク) 岸本達人

研修委員会

委員長 伊藤信和(弁ク)
副委員長 横田香澄(同友)
委員 (同友) 徳増あゆみ
(弁ク) 柿本邦夫 中川裕幸

30周年記念事業実行委員会

委員長 青山 仁(同友)
副委員長 永井義久(弁ク)
式典部会長 吉村俊一(同友)
祝賀会部会長 山川茂樹(弁ク)
記念誌部会長 松本直子(同友)
委員 (同友) 古谷史旺 小野友彰
田辺 恵 岩田克子
笹野拓馬 徳増あゆみ
坂口吉之助 保屋野光繁
(弁ク) 永岡重幸 今堀克彦
三苦貴織 新井 宏
橋 祐史 美川公司
夏目洋子 尾崎祐朗
張 華威

幹 事 (同友) 林 實 小林 保
小川眞一 丸山英一
笹野拓馬 松本直子
(弁ク) 中川裕幸 山本晃司
伊藤信和 今堀克彦
瀧澤匡則 潮 太朗

監 事 長内行雄(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一 粕川敏夫
石川 憲
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平
山川茂樹 山本晃司

委員会

総務委員会

委員長 潮 太朗(弁ク)
副委員長 松本直子(同友)
委員 (同友) 河合利恵
(弁ク) 須山英明 三苦貴織

政策委員会

委員長 伊賀誠司(同友)
副委員長 橋 和之(弁ク)
委員 (同友) 古谷史旺 小林 保
長内行雄 小川眞一
丸山英一 山崎高明
(弁ク) 川久保新一 中川裕幸
山川茂樹 岸本達人
塩野谷英城 瀧澤匡則

企画委員会

委員長 小國泰弘(弁ク)
副委員長 横田香澄(同友)
委員 (同友) 吉村俊一 高井智之
(弁ク) 絹谷晴久 加藤和孝
小田原敬一

【平成 30 年度】

幹 事 長 鈴木 知(弁ク)

副幹事長 菊池 徹(同友)
(調整、研修)

関 昌充(同友)
(政策、役員協議)

奥川勝利(弁ク)
(総務、企画)

役員協議委員会

委員長 山本晃司(弁ク)
副委員長 藤浪一郎(同友) 吉村俊一(同友)
委員 (同友) 藤井稔也 井澤 幹
関 大祐 高下雅弘
吉田倫太郎
(弁ク) 今堀克彦 絹谷晴久

調整委員会

委員長 丸山英一(同友)
副委員長 山本晃司(弁ク)
委員 (同友) 小川真一
(弁ク) 中川裕幸 瀧澤匡則

研修委員会

委員長 谷口 登(同友)
副委員長 伊藤信和(弁ク)
委員 (同友) 茜ヶ久保公二
(弁ク) 権正英樹 河部康弘

弁理士連合クラブ会則

(昭和62年9月29日創立総会、即日施行)

第1章 総則

(名称)

第1条 ・本会は、弁理士連合クラブと称する。

(目的)

第2条 ・本会は、知的財産権制度及び弁理士制度の改善と向上を図ることを目的とする。

(組織)

第3条 ・本会は、第2条に掲げる目的に賛同する弁理士団体及びその団体に属する弁理士をもって組織する。

(事務所)

第4条 ・本会の事務所は、東京都に置き、その場所は幹事会が定める。

(入退会)

第5条 ・本会に入会し又は退会する弁理士団体は、入会届又は退会届を幹事会に提出し、その承認を得なければならない。

第2章 総会

(総会)

第6条 ・総会は、定時総会と臨時総会とする。
・定時総会は年2回2月、並びに9月又は10月に開き、臨時総会は随時開く。

(権限)

第7条 ・総会は、次の事項を審議する。
1) 予算の議決及び決算の承認に関する事項
2) 会則の制定、変更又は廃止に関する事項
3) 役員、相談役及び顧問の選任に関する事項
4) 日本弁理士会役員候補の推薦に関する事項
5) その他、幹事会において総会に付することを相当と認めた事項

(召集)

第8条 ・総会は、幹事長が召集する。
・総会招集通知には、会議に日時、場所及び会議の目的事項を示さなければならない。

(議長及び議事)

第9条 ・総会の議長は、幹事長をもってこれに充てる。
・議事は、出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決する。

第3章 役員

(役員)

第10条 ・本会に次の役員を置く。
1) 幹事長1人
2) 副幹事長若干人
3) 幹事若干人
4) 監事若干人
幹事長は、日本弁理士会の会長又は副会長を経験した者でなければならない。
役員は、総会において選任し、その任期は、選任された年の翌年1月1日から12月31日までとする。

(幹事会)

第11条 ・幹事長、副幹事長及び幹事で幹事会を組織する。
・会務の執行は、幹事会がこれを決する。
・議事は、出席した副幹事長及び幹事の過半数をもって決し、可否同数のときは、幹事長がこれを決する。
第11条の2 ・幹事長及び副幹事長で正副幹事長会を組織する。

(幹事長)

- 第12条
- ・幹事長は、幹事会を招集し、その議長となり、幹事会を統括する。
 - ・幹事長は、本会を代表する。
 - ・副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故があるときは、弁理士登録の順序により幹事長の職務を代行する。

(報告等)

- 第13条
- ・幹事長は、委員会に出席して、会務の状況を報告し、又は意見を述べることができる。

(監事)

- 第14条
- ・監事は、本会の財務を監査する。

第4章 委員会

(委員会)

- 第15条
- ・本会に次の委員会を置く。
 - 1) 総務委員会
 - 2) 政策委員会
 - 3) 企画委員会
 - 4) 役員協議委員会
 - ・幹事会は、必要に応じて特定の事項を行わせるため、特別委員会を置くことができる。

(委員選任)

- 第16条
- ・委員は、幹事会において選任する。
 - ・委員の任期は、選任された日から選任された年の12月31日までとする。ただし、特別委員会の委員の任期は幹事会が定める。
 - ・委員の任期が満了した場合においても、後任者が就任するまでは、なおその職責に任ずるものとする。

(正副委員長)

- 第17条
- ・委員会に委員長1人、副委員長若干人をおく。委員長及び副委員長は、毎年最初の委員会において委員が互選する。
 - ・委員長は、委員会を招集し、その議長となり、委員会を統括する。但し、毎年最初の委員会は、幹事長がこれを召集する。
 - ・委員長は委員会を代表する。
 - ・副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、弁理士登録の順序により、委員長の職務を代行する。

(委員会の会議)

- 第18条
- ・議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長がこれを決する。

(委員会の職務)

- 第19条
- ・各委員は、次の事項を行うことを職務とする。
 - 1) 総務委員会は、会員の連絡及び会議場所等の設営、会議の開催に関する事項、その他、他の委員会に属さない事項を行う。
 - 2) 政策委員会は、日本弁理士会の会務執行上の諸政策についての調査、研究に関する事項を行う。
 - 3) 企画委員会は、本会の運営の改善及び新規会員の増加策等の調査、研究並びに機関誌の編集、発行に関する事項を行う。
 - 4) 役員協議委員会は、日本弁理士会の役員選挙に関する事項を審議し、選挙運動の統括を行う。

第5章 相談役及び顧問

(相談役及び顧問)

- 第20条
- ・本会に相談役及び顧問をおくことができる。
 - ・相談役は、本会の幹事長を経験した者、日本弁理士会の会長又は監事長若しくは常議員会議長を経験した者の中から選任する。
 - ・相談役は相談役会を構成する。
 - ・相談役会は、会務について幹事長の諮問に応える。
 - ・相談役及び顧問の任期は、選任された日から選任された年の12月31日までとする。

第6章 会計

(会計年度)

第21条・本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり、12月31日に終わる。

(特別会計)

第22条・日本弁理士会の役員選挙に関する費用の支弁は、特別会計とする。

(経費)

第23条・本会の経費は、本会の属する弁理士団体の分担金、寄付金その他の収入で支弁する。

(監査報告)

第24条・監事は、監査を定時総会で報告しなければならない。

第7章 規則の制定

(規則の制定)

第25条・幹事会は、会務の執行上必要と認めた場合には、幹事会の決議により規則を定めることができる。

第8章 会則等の改正

(会則の改正)

第26条・本会則を改正するには、総会出席会員の3分の2以上の同意がなければならない。

(規則の改正)

第27条・規則の変更又は廃止は、幹事会の決議により行われなければならない。

附 則

1. この会則は、昭和62年9月29日から施行する。
2. 昭和62年度の役員及び顧問の任期は、昭和62年9月29日から昭和63年3月31日までとする。
3. 昭和62年度の会計年度は、昭和62年9月29日から昭和63年3月31日までとする。
4. この会則の一部改正は、平成5年5月17日から施行する。
5. 平成5年度の相談役の任期は、平成5年5月17日から翌年3月31日までとする。
6. この会則の一部改正は、平成11年5月21日から施行する。
7. この会則の一部改正は、平成13年1月25日から施行する。
8. この会則の一部改正は、平成15年8月8日から施行する。
9. ①この会則の一部改正中第10条の規定は、平成16年9月22日から施行し、第6条、第16条、第20条、第21条の規定は、平成17年1月1日から施行する。
②平成16年度の会計年度は、平成16年4月1日から平成16年12月31日までとする。
③平成16年度の役員、委員、相談役及び顧問の任期は、平成16年4月1日から平成16年12月31日までとする。
10. この会則の一部改正は、平成19年2月27日から施行する。

弁理士連合クラブ慶弔規則

第1条(目的)

この規則は、弁理士連合クラブ(以下本クラブという)会員又は会員以外の弁理士の慶事、弔事、罹災等に関して、本クラブが祝意、弔慰を表わし、あるいは見舞いを行うに当たっての基礎を設けることを目的とする。

第2条

(1)慶事に関する祝意は下記の方法によって表わす。

(i)会員又は会員以外の弁理士が叙勲を受け、褒章を受章したときは祝電

(ii)会員が結婚したときは祝電

(2)会員の慶事に本クラブが招待されたときは、幹事会の決定に基づいて金員を贈り祝意を表わすことができる。

第3条

弔事に関する弔慰は下記の方法によって表わす。

(1)下記の者が死亡したときは弔電

(i)会員

(ii)会員以外の日本弁理士会会長又は副会長経験者

(2)下記の者が死亡したときは弔電のほか花輪、生花又は香典

(i)本クラブ幹事長又はその経験者

(ii)会員であって、日本弁理士会会長又は副会長又は監事長並びに常議員会議長若しくはそれらの経験者並びに日本弁理士会委員長の5回以上の経験者

(iii)会員以外の者であって日本弁理士会会長経験者又は現職の日本弁理士会会長又は副会長

第4条(罹災)

下記の者が、病気、怪我その他の事故等の罹災により、2ヵ月以上執務し得ないときは品物を送り見舞いの意を表わす。

(1)本クラブ幹事長又はその経験者

(2)会員であって、日本弁理士会会長又は副会長又は監事長並びに常議員会議長若しくはそれらの経験者並びに日本弁理士会委員長の5回以上経験した者

第5条(額の決定)

この規則における弔事に関し贈られる花輪、生花、香典及び見舞いのために贈られる品物の金額は、幹事会において予めこれを定める。

第6条(特 則)

この規則に定めない事項に関し、幹事会において慶弔の意を表わす必要があると特に認めるときは、幹事会の決定によってこれを行うことができる。

付 則

この規則は平成元年1月17日より施行する。

この規則の一部改正は平成13年1月25日から施行する。

「特別寄付金」を求めるときの 運用基準

(目的)

第1条 この運用基準は、弁理士連合クラブ（以下、本会という。）の会務運営に必要な特別寄付金について定める。

(対象者)

第2条 特別寄付金を求める対象者は、日本弁理士会会長、同副会長、同監事長、同副監事長、同常議員会議長、同副議長、本会の幹事長、同副幹事長及びこれらの経験者（本会設立前の経験者を除く。）とする。

(基準)

第3条 特別寄付金の基準は以下のとおりとする。

1. 日本弁理士会会長又は同経験者……………年 6 口
 2. 同 副会長又は同経験者……………年 2 口
 3. 同監事長又は常議員会議長若しくは同経験者……………年 4 口
 4. 同副監事長又は副議長若しくは同経験者……………年 1 口
 5. 本会の幹事長又は同経験者……………年 3 口
 6. 同 副幹事長又は同経験者……………年 1 口
- 1口10,000円とする。但し、幹事会は諸般の事情を考慮して金額の増減を行うことができる。

(適用順位)

第4条 対象者が前条で定める基準に複数該当するときは、口数の最も多い方を適用する。

(求めの方法及び時期)

第5条 特別寄付金の求めは、年度初頭に定める本会予算に基づいて毎会計年度中に行うこととする。

第6条 この運用基準は、原則として満70歳以上の者については適用しない。

- 《注》・平成12年度第7回幹事会（平成12年12月21日開催）で決議
・平成12年度第2回総会（平成13年1月25日開催）にて報告
・平成12年度第8回幹事会（平成13年3月29日開催）で、第6条の追加を決議

編集後記

本年度も無事に、機関誌『連合』No.30を発行することができました。本年度も例年同様、多くの先生方にご執筆いただきました。お忙しい中、ご寄稿いただきました先生方には深く感謝申し上げます。特に、日本弁理士会会長の清水善廣先生、日本弁理士クラブ幹事長の福田伸一先生、西日本弁理士クラブ幹事長の小谷昌崇先生には、お忙しい中、弁理士連合クラブの親睦旅行会にもご参加頂きました。深く御礼申し上げます。

本年度の親睦旅行会では、新潟県中越地方の自然（本機関誌の表紙に掲載された日本三大峡谷の一つ「清津峡」）・文化・食を楽しむ旅を企画しました。参加者の皆様には、新潟県中越地方をご堪能しつつ、三派交流を深めていただけたのではないかと思います。

昨今の知財業界におきましては、国内特許出願件数の減少傾向が続いており、閉塞感が漂う状況ではありますが、弁理士連合クラブを通じた各弁理士の活動が弁理士連合クラブひいては知財業界の発展につながることを願ってやみません。

最後になりましたが、幹事長の塩野谷英城先生、担当副幹事長の瀧澤匡則先生、企画委員長の笹川拓先生、企画委員会の皆様（小島猛先生、絹谷晴久先生、岩田耕一先生、河合利恵先生）には、本機関誌発行にあたり多大なるご協力をいただきました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

（企画副委員長 須藤 淳）

弁理士連合クラブ会報
連 合

No.30

令和2年2月29日

発行 弁理士連合クラブ
編集 弁理士連合クラブ企画委員会
制作 (株)文寿堂
Tel.03 (3948) 6631

弁理士連合クラブ